京城日報

屑屋の籠

學校の試驗期

隈汀生

今や學年の終りに臨み、青年學生が、最も試驗準備に苦む時期である。夜以て日に繼ぎ、平素の不勉強を一時に補はんとして健康を害する者多きは此時である。余は敢て諸君に勸告す、濫りに試驗制度を惡用して、學生の精力を『點取り第一主義』の爲に消耗せしむる勿れと。元來試驗は手段(ミーンス)にして目的(オブゼクト)にあらず、目的は學識を得しむるに在る。是れ猶軍隊が戰爭を目的とし、演習を手段とするが如し。諸君も定めて記憶あらん、無理に頭腦に出入せる知識は、其忘れ易きこと、恰も不消化なる食物を強て口腹に詰め込みたるに似たり。徒らに頭腦や胃腸を害するに止まりて、毫も心身の滋養に益する所なからん。學識を得しむるの道は、自ら進みて知識慾の滿足を欲求せしむるにある。又從來青年學生が高等學校入學の爲に競爭試驗に及第せんとて、甚だ準備に頭腦を苦しめ、健康を害せる者非常に多い。我國教育制度の不備は、實に幾多可憐の青年を驅りて可惜前途ある身を空しく其の犧牲たらしめた。我等が前年學制改革の急を唱へて當局に迫り、高等學校增設の機運を促したるは、全く此弊を救はんが爲であつた。又近來此入學難の悲痛の叫びは、小學校から中學校、高等女學校等に進まんとするいたいけな少年少女の上に痛切に響くやうになつたと聞く。教育上實に容易ならぬ事である。元來今日行はるゝが如き形式的の入學試驗は決して正當に入學志望者の優劣を判斷し得るものではない。何とかして速かに中等程度學校の不足を補ひ、且つ試驗の方法等を改善して、所謂普通教育の眞目的を達したいものである(三月八日夜稿)

非凡なる外交家

余は嘗て希臘の首相ヴエネゼロスが外交手腕の非凡なることを說き、今後の活動必ず大ひに見るべきものあらんと豫言せるが果せるかな爾來僅に一月半餘、希臘は平和克服の今日、アドリアノープル(嘗てトルコの元首なるサルタンの帝都たりし處)を得スミルナ(小アジアの良港)を得、漸く大希臘の理想を實現せんとするに至れる、其の成功實に驚くべきものあり。日本の人口は希臘に十四倍し、國力亦之に伴なふ、しかも一人のヴェネゼロス無し、嘆ずべき哉。

技師の善用及び優遇

朝鮮總督府に於ける技師及び特別の能力を要する官吏の任用、待遇上、何等かの缺陷あるが如し。何ぞ近年技能ある人士にして職を去るもの、夫れ頗々たるや。凡そ產業其他專門の事務に關して之を扱ふ者の『くろうと』ならざるべからざるは殆ど自明の理にして、先進文明諸國の皆多年の經驗に徵して今猶實行する所なり。余は上官の官僚機關を運轉せらるゝに當りて更に深く此の點に留意あらんことを切望す

誤れる改造運動

青年改造聯盟とかの某々等七名去る七日東京より小田原に至り態々二臺の自動車を傭ひ、之れに分乘して古稀庵の玄關に橫付けし、山縣公に面會を迫りて拒絕せられたりと。嗚呼彼等は恐らくも改造の叫びに惑はされて自ら覺らざるもの、改造の要は却て彼等の上に在り。普通選擧何の說あるも、畢竟彼等ごときの徒、世に多ければなり。何ぞ先づ自ら學を勉め業を勵み、以て實力を養ひ、思想の基礎を造らざる。予は朝鮮に於ける獨立騷ぎに動かさるゝ青年に對しても、亦同じ忠言を呈するものである(三月九日夜稿)

神仙爐

朝鮮と川柳(六)

劍花坊

それから朝鮮といふ土地が、川柳に不適當で無いと云ふ理由がある。同じく川柳といふ中でも、自分の宣傳して居る新川柳は、いたづらに古川柳崇拜のみに囚はれず、進んで現代人の感情を吐露する、詩化するに最も合した川柳をこしらへやう、といふのが目的だ、それにはどうしても新しい事に接しなければならぬ、朝鮮の山川草木、風俗人情は悉く我々內地人には珍らしいのである。第一に內地人の動物園や、見世物小屋の外は見ることの出來なかつた虎が居る、今日の內地人ならば虎の鳴く聲をきかず、鑑賞困難とは云はなかつたらう。猫で無い證據に例へ竹を書きの必要も無かつたらう。

大將の[illegible]さいふ僕の[illegible]も出來ただけ[illegible]見ること[illegible]の皮

川柳募集

朝鮮の歷史、風俗、人情を題目にしたもの

歷史は時代なも含む國初風戒は差閊へなきも、露骨に朝鮮人及び其風俗を惡罵したものは取らない。用紙はハガキで、他の投吟と紛れぬやう『京城柳壇』と朱書して、東京芝二本榎西町二番地劍花坊宛直送して貰ひたい。添削して紙上で發表する秀逸には劍花坊肉筆の短冊或は葉書を呈す。特殊の風俗を詠んだ句には、簡單なる說明を添へて欲しい。

妻となりて

布施生譯

(四十六)

眞壁は自分の方から雅子を慕ひ寄るだけでは足りなかつた、彼は雅子を自分の方に引付け雅子の方から自分を離れ兼ぬるやうに仕向けたかつた。それには折角雅子が自分を信じ自分に同情してくれるのを下らぬ事で破りたくはない、眞壁はそれに氣附くと口まで出懸つた嫉妬の言葉を周章て、咽喉へ吞込んでしまつた、雅子は何も知らずに相變らず眠つてゐるかと思はれるばかり靜かに眼を閉ぢてつゝましく控へてゐた、目的の旅小舍も近くなつた時分雅子は不圖眼をあけて居住居を正した、そして眞壁と眼が合ふとぼつと赤くなつていゝ隱しのつもりであらう、口早に話を始めた、眞壁は騷がず話の緒に附いて沿道の景色を一々說明して聞かせた、眞壁は全く旅行通であつた、彼は雅子を覺がせるのが目的なので自分達や他人の噂は一言も口に出さなかつた、素より話上手の事とて雅子は何時か聞惚れて目的の旅小舍に到く事も忘れて仕舞ひ、著いたと云ふ聲に呼覺された時は今更殘り惜い位であつた、旅小舍から少し行くと乘換驛があつて其處から汽車に乘る手筈になつてゐるので馬車は其儘待たせて置いた。

粗末造りの旅小舍の一室に通つて二人は始めて差向ひの朝御飯を食た室も質素なら料理も質素で今迄とは比較物にもならなかつたが唯一つ遊び棚に水仙の早咲が鉢の儘置いてあつたのは何となく趣が深くどうやら自宅のやうな懷しみがあつた、雅子は態々花の側へ立寄つてそつと花片に唇をあてた、そして眞壁を顧みて莞爾した、眞壁も努らず笑ましげに『ねえ、無暗に立派な御披露の御馳走よりか此方がずつと可いぢやあないか』雅子ははいいと快活に笑つて答へた、眞壁は立つて雅子の肩から大きな塵除外套を脫がせてやつた、其手につれて花の糊かとも思はれる雅子の白裝束はすつきりと浮出たやうに鮮かに現はれた、眞壁は惚々として思はず其美しい身體を搔擁かうとした。

『此處からはもう急がなくても可いのだよ、襟卷や何かも取つてもつと寬ぐが可い』雅子は點頭て旅裝束を脫ぎ棄て漸着になつて髮もくるくると無雜作に捲換へた『何時迄も此處に居たうございますわね』言ひかけたが直に其口の下から『でも早く行かなけりやなりませんわね、私早く先方へ往きたうございますわ、貴方からお話して戴いた、あの氣の毒な人達を助けたうございます、貴方私に何かお手傳ひをさせて下さいましな』『よし、何でもして下さい』と應じたが一寸流し眄に雅子をみて『でも實は彼處へつれてゆくのは心配になるよ、何しろ暗くはあるし變な處だからね、ねえ、新世帶の初めだもの、せめて幸福らしい生活に取附きたかつたものね』『どうしていゝ生活なんて仰有るのでございます』雅子は暖爐の傍で手を火に翳しながら尋ねた、眞壁は『一寸言淀んだが『なあに、まあそれ位より以上は出來そうもなかつたからさ』雅子は染々と『あらだつて貴方には眞個の幸福が來ても可いのでございますわね、貴方は善い方なんでございますもの 私、小兒の時昔噺のゑらい人の事を考へるのが癖でございましたわ、貴方にお目に懸ると私何だか其ゑらい人達の事を思ひ出しますのよ、あらお笑ひ遊ばしちやあ厭でございますよ』眞壁は思はず笑ひを催したが何を懷出したか聊か悄氣氣味に『ふん昔噺の英雄かね、成程身體が嚴丈で力が強そうな所がお見立に預かつたんだね、しかし殘念ながら僕は豪傑の資格はない、僕は唯の凡人さ』言ひながらつかつかと雅子の傍に步み寄つて『貴女を崇拜してる凡人さ』と囁いた。

本紙定價 一部金五錢 ▲壹ヶ月金八十五錢 ▲三ヶ月同二圓[illegible] ▲六ヶ月同[illegible] 郵券代用一割增
廣告料 五號活字一行金一圓[illegible] 特別[illegible]
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
印刷人 [illegible] 編輯人 [illegible]
電話番號 [illegible] 振替京城[illegible]

朝鮮彙報 三月號

大正九年三月號 定價廿五錢 郵稅一錢五厘

○口繪
○朝鮮產山椒魚に就て……平壤高等普通學校 十井
○現代の朝鮮文學……編輯課
○朝鮮に於ける土民の歸化法に就て……渡邊彰
○夏蠶秋蠶狀況 ○宗教課
○驛屯土の拂下に就て……稅務課長 水口隆三
○煙草及び煙草制度に就て……財務局 杉本良
○朝鮮に於ける水力電氣の經濟的價値……朝鮮總督府技師 本間孝義
○朝鮮に於ける私設鐵道及軌道……朝鮮總督府鐵道部
○朱安大日製鹽成績……專賣課朱安出張所長
日蓮上人の事蹟……
統計 ○十一月中朝鮮貿易概況 ○十二月中朝鮮經濟概況
廣告料 [illegible] 販賣 [illegible]

社員採用

一、甲種商業卒業程度 三名
一、中等學校卒業程度 二名
一、林業ニ經驗アル者 三名
一、高等小學校卒業十八歲未滿 五名

右採用ス希望ノ方ハ來ル十四日午後一時ヨリ本社ヘ履歷書携帶本人來談アレ

大正九年三月 京城府黃金町一丁目二一七
日華木材株式會社 電話一〇六六番

大隈侯主宰 大觀 三月號

國家思想一變の徵……主幹 五來素川
農民黨としての政友會の實質批判 橫田英夫
西洋人の褌人の褌で角力を取る惡を笑殺す 理學博士 遠藤吉三郎
亞細亞人の世界主義……西村眞次
日本に迫る內憂外患……尾崎行雄
憲政三十年の總決算 大隈侯爵
勞働者修養の時代……法學博士 神戶正雄
宗教的經濟觀 伊藤證信
歐米の生活費 田川大吉郎
小說家たらんとする若き人へ 札幌めがね翁
大隈侯爵座談
竹と蝸牛 [illegible]森成吉
重圍に陷る政友會の裏面
丹後の與作 佐々木味津三
坪內博士新作 法難(明治座に於て上演好評嘖々たり)
定價一部四十錢 一年四圓六十錢 振替東京四〇九五六 大觀社

三ケ月卒業三圓廿錢校則呈

鐵道員養成

日本で初めて作つた新鐵道通信教授 最も多く且つ成功容易なるは鐵道員なり[illegible]
東京芝公園 鐵道通信學校

俳句雜誌 俳鳴 毎月廿日發行

[illegible]

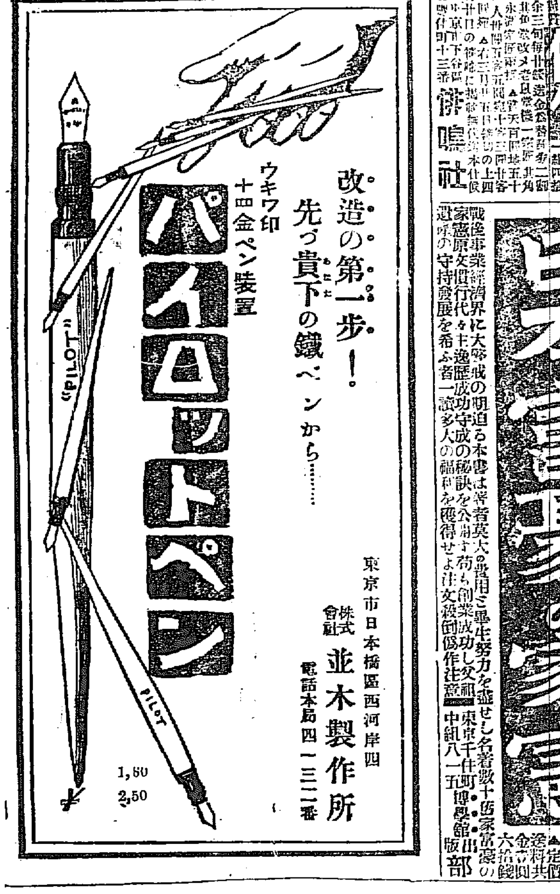
俳鳴社

日本富豪の家憲

戰後事業界に大警戒の明迫る本書は著者莫大の費用と畢生努力を盡せし名著數十萬家富豪の家憲原文實行代々主逸歷成功守成の秘訣を公開す苟も創業成功し又組合の守持發展を希ふ者一讀多大の福利を獲得せよ注文殺到僞作注意

岩崎著 四百頁 洋裝美本 ▲定價共 送料金六拾錢

東京千住町中組八一五 博學館出版部



改造の第一步！
先づ貴下の鐵ペンから……

ウキワ印 十四金ペン裝置

パイロットペン

1,80
2,50

東京市日本橋區西河岸四
株式會社 並木製作所
電話本局四一三二番

東京漫畫會主催

漫畫展覽會

三月十四日より二十日まで 七日間 二階に於て

服部亮英
東京朝日新聞社 岡本一平
近藤浩一路
東京時事新報社 北澤樂天
其他 諸先生出品

京城 三越呉服店 電話六〇一二番

株式會社 白木屋呉服店新株募集

公募の要旨

白木屋呉服店は寬文二年の創業にして爾來二百六十有餘年東都の中央に店舖を開き世の浮沈興亡の外に營業を繼續し現代の信用を基礎として逐年發展し來れる老舖なるは今更喋々の言を要せざる所なり、昨大正八年時運の進步に伴ひ其組織を改めて株式會社となし事業の擴張を企圖したるに積年の信用と顧客本位の營業方針と營業場所の好位置とは相俟つて業務の發展眞に驚異すべきものあり、其營業成績の如き拂込資本の十割に近き利益率を計上するの盛況を示せり、更に同社は目下大阪東區堺筋備後町に支店敷地を買收し關西に於ける發展を企劃し東京本店と相呼應して理想的のデパートメントストアたらんことを期せり、尙本店の業績も逐日膨脹を極め家屋も從て狹隘を告ぐるに至れるを以て近く之が改築を爲し東洋第一のデパートメントストアたらんとするの計畫中にあり增資は畢竟是等內外設備の充實と計畫の達成とを期せんが爲めに外ならず

會社の現況

同社の營業は啻に呉服に止まらず雜貨、日用品の陳列及び通信販賣にして斯種の營業は時運の進步と一般人士趣味の向上と相俟つて累年著しき發展を爲しつゝあるは歐米先進國の例に徵するも明かなる次第にて他の生產事業の如く原料、生產費の騰落に一喜一憂するの要なく一定の利益率は適確に收め得べきものなれば最も確實安固なる投資物なりと云ふも誇稱にあらず亦三百年に近き牢乎たる信用と遠く朝鮮、支那、滿洲、西伯利、南洋等に迄及べる顧客と千四百名の熟練せる從業者とは一朝一夕にして容易に得易からざるものなるに於てをや

增資後の成績

大阪支店の落成と本店の改築竣成の曉に於ては販賣額も益々增加すべく理想的デパートメントストアとして益々發展せんとす、會社現在の收益狀態に於ても優に三割配當は之を爲し得べきものなれば增資後に於ても現配當率を維持するは容易なるのみならず更に增配の時機あらんことも敢て今日推算に徵して明瞭にて將來は斯に安固確實なる平和株として大方諸賢に推奬する所以なり敢て御應募あらんことを冀望す

大阪株式現物團
東京現物團
東京株式現物團

大正九年三月

募集要項

一、募集株數 參萬株(增資新株貳拾萬株の內)
一、募集金額 金壹百五拾萬圓(增資金壹千萬圓の內)
一、壹株の金額 金五拾圓也
一、申込價格 金參拾參圓以上(單位拾錢) 但申込證には額面超過金額のみを記載するものとす
一、申込株數單位 拾株
一、申込證據金 壹株ニ付金拾圓也
一、確定證據金 額面超過金同額 但申込證據金を併算し額面超過金に充當す
一、申込期日 大正九年三月十五日より二十日迄
一、募入決定法 申込價格の高きものより順次募入し同一價格のものは適宜決定す
一、確定證據金拂込期日 大正九年四月五日
一、第一回拂込期日 大正九年四月十五日
一、第一回拂込金 壹株ニ付金拾貳圓五十錢 但期限迄に第一回拂込金及確定證據金の拂込を爲さゞるときは申込を無效として申込證據金は之を返還せず

申込取扱所

東京株式現物團
東京日本橋區南茅場町 高井治兵衛商店
同 南茅場町 織田信託株式會社
同 坂本町 望月合資會社
同 堀留町 小布施新三郎商店
同 坂本町 南波禮吉商店
同 本材木町 山中清兵衛商店
同 坂本町 村上貫二商店
同 本材木町 株式會社德田商會
同 青物町 川北商店
同 兜町 帝國證券信託株式會社

東京現物團
東京市日本橋區兜町 山一合資會社
同 南茅場町 株式會社角丸商會
同 青物町 株式會社山叶商會

大阪株式現物團
大阪市同波座中一 株式會社高木商店
同 今橋二 株式會社竹原商店
同 北久太郎町三 株式會社黑川商店
同 本町二 株式會社野村商店

橫濱現物團
橫濱市辨天通三丁目 矢島善七商店
同 南仲通三丁目 上甲信弘商店

京都株式現物團
京都市寺町四條 株式會社[illegible]商店
同 烏丸三條 六鹿[illegible]商店
同 東洞院高辻 合資會社齋藤商店
同 烏丸蛸藥師 合資會社丸二商店

名古屋株式信託團
名古屋市中區榮町 株式會社安藤商店
同 南伊勢町 荒川伊八商店
同 榮町 安達利三郎商店
同 南大津町 若山幸三郎商店
同 南伊勢町 佐分三之丞商店
同 南大津町 後藤周一郎商店
同 南伊勢町 古川善治郎商店

名古屋株式現物團
名古屋市中區住吉町 後藤新十郎商店
同 南大津町 愛知信託株式會社
同 南伊勢町 木村又三郎商店
同 四日市市藏町 合名會社坂商店
名古屋中區南呉服町 村瀬周輔商店

神戶株式現物團
神戶市元町一丁目 吉田金太郎商店
同 兵庫小物屋町 魚住悅五郎商店
同 兵庫大開通三 大村啓七郎商店
同 元町五丁目 澤田善一郎商店
同 元町五丁目 藤井忠兵衛商店

濱松現物團
濱松市 濱松信託株式會社
同 株式會社永[illegible]商店
同 竹內五郎馬商店

取扱銀行

東京市日本橋區本町 七十四銀行支店
同 日本橋區南八丁堀 日本信託株式會社
京都市三條 七十四銀行支店
大阪東區本町三丁目 七十四銀行支店
橫濱市南仲通り二 第七十四銀行
同 本町四丁目 百十四銀行支店
堺市熊野町 [illegible]
和歌山市本町 [illegible]
熊本市[illegible]
鹿兒島市[illegible]
[illegible]

米批准前途悲觀
ウ氏第十條保留に不贊成

米大統領は新軍國主義の發生防止の骨子たる聯盟規約第十條保留に不贊成を聲明したる爲め批准の前途悲觀せらる（紐育電報）

講和不批准と米海軍
世界最大の海軍建造必要

米國海軍卿は代議院海軍委員會に告ぐるに講和條約を批准する能はざれば一般委員が提議せるよりも更に大なる海軍建造計畫を提議し之れが通過を計る可しと言ひ且つ元老院にして講和條約を批准せざれば米國は速に世界に於ける最大の海軍を建造する著手せざる可からずと力說せり（華盛頓電報）

露對獨講和交涉

露國過激派首領ラコスキー氏は伯林に到り對獨講和協議を爲し交涉中なり（巴里電報）

日本對外形勢論評
米伊佛親善關係持續

羅馬エポカ新聞は日本の對外形勢に就き論評して曰く「來年滿期となる可き日英同盟は確かに再施さる可きも日本は同時に米國と親善關係を維持するに興味を有し居れり日米戰爭は歐洲の新聞等に記述され居れるも自國の名譽を侵害されたる結果戰ひを餘儀無くされざる限り日本國民は一人として之を希望し居る者無し日本は米國と双互諒解し同時に伊佛と親善關係を持續す可し」と（羅馬電報）

獨、日本に感謝
俘虜送還優遇に就て

日本に敗衂中なりし獨逸俘虜第一回分歸國に就き獨本國の關係者は此の報道に接して歡喜の情を表し居れるが右俘虜は一齊に日本汽船に於て優遇を受けたることを認め居れり新聞紙は此等の報道に依り他國より獨逸俘虜及び抑留人民を送還せる船舶に於ける此等の待遇を比較し日本に感謝の意を表し居れり（伯林電報）

獨對露俘虜交涉是認
獨通商委員派遣

獨逸國民議會外交委員會は俘虜交換に關し露國勞農政府との交涉を是認し露國に通商關係を再開する爲め財政經濟の諸問題に就き露國に委員を派遣するの議あるを聲明せり（伯林電報）

伯林勞役法施行か

伯林にては一般的勞役法施行の議あるが右は一定の職業に就き手工を學び且つ服業せしむるにあり尤も右に就ては多大の議論を惹起したるが經濟學者は之れを以て獨逸復興の中軸なりと切言せり尚ケルニッシエ、ツァイツング紙は戰敗の獨逸は何とかして此の法を遂行せざるべからず レニン治下の無政府的國家に於ても之れなくしては立つ能はずと論ぜり（伯林電報）

獨最近陸軍兵力

二月下旬に於ける獨逸陸軍の兵力は國防軍三十萬（電文不明）十萬警察軍十萬合計五十萬にして其他臨時志願兵義勇國民軍の組織を編成し尚全國に亘り地方協會の援護著しく青年に軍事教育を施しつゝあり（東京特電）

獨支日航路開始

北獨逸ドノード及び漢堡亞米利加汽船會社リバプールのホルト汽船會社は倫敦エレルモン、マックナル汽船會社と共同し漢堡支那日本間に毎月航路を開始することを契約せるが メリフエマス號は四月中英國より出發すべし（伯林電報）

クルップ工場擴張

獨逸クルップ工場は昨年十二月三萬二千の職工其他使用人を有し居たりしが今や四萬五十人を使用するに至れり（伯林電報）

英剩餘超過收入

[illegible]

新亞細亞博物館
漸く竣功＝日本及支那品陳列

千九百十三年建築に著手したる伯林の新亞細亞博物館は戰時中多大の影響を受けたるにも拘らず今や略竣功し日本及び支那の美術品を適當に陳列し得るに至れり（伯林電報）

ヒ將軍回想錄

ヒンデンブルグ將軍の回想錄は獨逸及び外國に於て四月九日同時に發行さるべし（伯林電報）

濠洲空中防禦提案か

濠洲に於る空中防禦運動は漸次勢力を得近く議會に提案せらるべしと（紐育電報）

英對米決濟方法

英國藏相マカヅー氏は曰く英國は米國の債務決濟に當つる爲め米國にて印度西比の諸證券を買取る可しと（華盛頓電報）

過激軍波蘭攻擊
波蘭軍敵軍擊破

過激派の大軍波蘭に對し攻擊を開始したるが伯林通信の所報に據れば波蘭軍は敵軍を擊破して多大の損害を與たりと（倫敦電報）

我軍に撤退を迫る
齊多市不安狀態

後貝加爾方面に於ける露國側の報道に據ればイルクック政變の張本人中の一人たるカラシニコフ大尉は自己の軍隊を以て過激派前衞隊を組織しつゝあるがカ大尉は三月四日セミョノフ側のブリヤート軍と數時間に亘りて交戰の後ウエルフネウヂンスクを占領せり又日本兵二名の死者ありカ大尉はニーギーネウヂンスク及び齊多間にある日本軍に向ひ速かに撤退す可く最後通牒を提出せるが日本軍は撤退の意向は有するが如くなるも鐵道從業員は彼等に輸送機關を與へざるより過激派軍は既にヒログ驛に近きハインピリン驛に在り齊多市は何等異變無し然れども人心著しく不安の狀態にあり（哈爾賓電報）

東鐵重役會と役員
結局支那側有利か

今次露支交涉の結果東清鐵道重役會には支那側より總裁として鮑貴卿に理事として王景春氏外二名を指定し尚ほ一名を選出し得る餘裕を存じたるが之に對し露國側はホルワット將軍の外露亞銀行哈爾賓支店長ビレネオ氏前交通大臣ウストロゴフ氏外二名の理事を選ぶべしとされど右二名は哈爾賓に居らず從つて直接事務に關係する能はず結局重役會は頭數の上より支那側に有利にして將來少くとも東清鐵道に關する總ての事業は支那側の諒解無き限り成功を期待し難からずしと觀測さる（東京特電）

東鐵員給料不拂
結局同盟罷業か

最近東清鐵道從業員の給料著しく停滯し哈爾賓驛は最近一月分の支給を爲したるも其他の諸驛は十二月分迄支給したるのみ加之財政の行詰は總ての支拂に窮し支拂決濟に見込無く近時風說昂まりつゝある同盟罷業は結局免れざるべし而して目下支那側は罷業豫防に努めつゝあるも露國側從業員は近來支那側に對し惡感を增しつゝあり罷業の鎭壓に關しては支那側も困難なる立場に在るが如し（東京特電）

總理結局辭職か

國務院側にては僞にする處あり三總長の辭表提出を否認し居れるも三總長の連名辭表は事實にて九日夜國務院を經て徐總統に提出されたるが段祺瑞氏は之れ當然の成行なれば結局靳總理も辭職の外無かる可しと語り居れり（北京電報）

三總長辭表却下
靳總理調停懇請拒絕さる

財政司法交通三總長の連袂辭表は十日徐總統の手許に提出されたるが總統は之れを却下するに決せり而し靳總理は數日來の形勢に鑑みて頗る焦慮し段芝貴に調停方を依頼したるも効無く拒絕されたるより九日天津の吳光新氏に來京調停方を依頼したるも之れ亦拒絕されたるより九日午後段祺瑞氏に面會辭職を懇願したるが未だ何等の展開を見ずと（北京電報）

準尉制度廢止

[illegible]準尉制度は明年度より之を[illegible]（東京電報）

[illegible]するもの左の如し（東京特電）

八年度著手（十年乃至十一年度竣工）▲高等學校佐賀、島根▲外國語學校、阪九年度著手（十一年乃至十二年竣功）▲高等學校東京、高知、靜岡▲[illegible]工業學校[illegible]

廣島▲高等農林學校宮崎▲高等工業學校甲府▲高等商業學校高岡▲藥學專門學校東京

ロ、ファゾニ、ビオンヂ大司教は氏一行來朝グランドホテルに投宿十一日午前八時十分東京驛著入京築地天主教會に入り（東京特電）

首相貴族院各派代表招待

原首相は十一日官邸に貴族院各派代表を招待し午餐會を開きたるが首相は食堂に入る前一場の挨拶的演說を爲したり第一に某外交事件の圓滿に經過しつゝあるを述べ第二に解散理由に就き最近政府より發表せる如き理由を繰り返し次いで階級打破に言及し其の不穩を力說し第三に過激派的思想は將來徹底的に取締るべき事を言明せり右演說終るや柳原義光伯江木千之、阪谷男、[illegible]等其他の質問あり後食堂に入り更に首相の挨拶德川議長の謝辭あり午後二時過ぎ散會せり（東京特電）

鑛山製煉所煙害防止方法
製煉所國營案

近來數箇所に頻發しつゝある鑛山製煉所の煙害は[illegible]附近の作物のみならず多大の煙毒は其附近の人民の健康を害すること甚だ大なるものあり然るに現行の鑛山法は極めて不完全にして根本的の解決を法律に求むる事能はず從つて煙害に對する損害の如きも解決は一定せず依つて主務省にては目下大阪控訴院に於て審議中の煙害事件の解決を待ちつゝあるが法律上の損害賠償範圍は目下のところ斷定し難きものあり東北に於ける某國有林の如き鑛山の煙害を被り千古斧鉞を入れざる大森林をも枯殺し盡さんとしつゝある狀態なるに拘らず完全なる除害設備は今日の所望み難きを以て全國數ヶ所に國營製煉所を設け全國の鑛山製煉所を一ヶ所に集めんとの計畫[illegible]に既往並に現在に止らず之れを將來に放任せんか將來益々大問題を惹起するのみならず[illegible]議員は臨時議會に於いて製煉所國營案を提出せんとしつゝあり（東京電報）

奉天會戰當時を御追懷
陸軍記念日に際し

葉山御用邸に御滯在の聖上陛下には十日陸軍記念日に際し特別の思召に依り十一時御用邸內にて守衞隊將校以下下士卒十數組の劍術を天覽あらせられ又午後御運動の御散歩あらせられ又奉天會戰當時の戰鬪を御追懷あらせられ帶大幕を以て作りし路營の狀況をも天覽あり種々御下問あらせられたり、皇后陛下にも拝觀仰せ出され殿下と共に現場に臨ませられたるが夜に入ては前記守衞隊以下の軍歌を聽召されたり（東京特電）

大連取引開場

大連五品取引所に於て十一日式擧行門田總理代理として山本三郎氏の答辭あり立會を開始せるが初手合せは僅に六千株に過ぎず（大連特電）

露國更に革命起らん
反過激派運動

最近露國より歸朝したる參謀本部々員橋本騎兵少佐は露國の近狀に付き語つて曰く

過派擡頭の經路

露國過派が主權を掌握せんと欲するや（一）辯論に依る宣傳（二）示威運動（三）買收（四）出版物に依る宣傳（五）威力の利用（六）[illegible]を以て反對派を壓迫し凡ゆる御策を弄し遂に千九百十七年十一月に至り其目的を貫徹せり然るに至るや[illegible]政權を獲得するに至り[illegible]も憚る所なし[illegible]行したる選擧に於て[illegible]百五十三名に對し反對派たる社會革命派六百名の議席を有するを見るや忽ち武力干涉に依り解散

群集に包圍

[illegible]智識なき委員は忽ち原料を亂費して三四ヶ月を經ずして工場を閉鎖するの止むを得ざるに至らしむ又他方に於ては銀行金庫を[illegible]して民用となしたる由を以て銀行には預金者一人もなく[illegible]群集に包圍せらるゝ狀態にして金融機關は全く停止するに至れり尙は食料品の如きはケレンスキー時代にありては各人平均一日一斤半の麵麭を得たるもケレンスキー開の時に至つては一斤過激派政權を得んとする時に於ては半斤となり獲得してより四分の一斤に遞減し加ふるに其の製造原料たるや[illegible]

最近の支那政局
南方使節 殷汝耕氏談

支那南東及び廣西問題は東南軍閥戰に就いての報告は未だ來て居らないから詳しい事は判らないが陸榮廷、林俊廷兩氏が調停の勞を執つて居られるから大事に至らずして早晚和解するであらう要するに岑春煊氏が唐繼堯氏に相談なく師團長の任命をやつたのが原因らしいからそんなに案ずる程大事にはならないだらう軍政府分離の兆だ軍政府が此れ位の事でグラグラ壞れる事ならもうトックの昔に瓦解して居るよ平會議の段にはならないよまア今暫らく待つて居り給へ必ず南北も互に讓步して手を握る樣になるよ兄弟牆に鬩ぐのは御互に不利な事は承知だからね

▲國民の過激思想に對する態度が別に言ふ程の變化はないよ學生が少し新しい思想を口にして居る樣ではあるが之とて支那には昔からあつた思想で今更事新しく騷ぐ程の問題ではないのだ工業も御承知の通り發達して居らないから同盟罷工騷ぎも殆ど無い農民は又夫迄理解する程度に進步して居らないから之も過激思想なんか馬耳東風の有樣だ思想に對して何等の反應もない▲要するに支那には目下過激思想は[illegible]

即ち會黨なるものがある著名なものでは三點會、哥老會なんかがあるのだ土匪は凡て此の結社に關するもので數十萬人の會員があるのだ土匪の起源は明朝の遺老が滿洲人排斥のため創設したものだが今日では若干其目的は變化して居るが併し相變らず隱然たる一敵國をなして居る▲會黨は全々共產主義だ互に喧嘩があつて互に保護し合つて居る富豪でも若干の財產を提供して會員になれば決して掠奪なんかの厄には遇はない私刑もあれば制裁もある官憲に捕まつて祕密でも洩そうものなら三族を殺されると云ふ始末だから結束は實に强固である會黨の消長は政治の良否に大なる關係があつて會黨の勢力が衰へた時には政治の不良の秋だ 從つて上海で排日運動があつた時三日間無警察であつたが會黨の力で三日間一つも事故がなかつたのに徵するも如何に會黨に潜める力があるか知れるであらうだから會黨でも過激派と提携でもしたらそれこそ大騷ぎである要するに支那で當局の最も警戒に努めて居るのは會黨に軍隊だが今では未だ何等の異狀もない

▲山東問題が巴里で調印を拒絕して居る以上直接交涉は困難であらう併し日支當局者が御互に一つ胸襟を開いて懇談し凡ての誤解を一掃したなら山東問題など容易に解決するであらう兎に角目下では誤解に誤解が重なつて容易に解く事が出來ない狀態だ故に此際は是非一つ双方で充分理解に努めなければ日支親善は名ばかりに終るであらう聞けば又軍事協約で東清沿線に日本兵が駐屯するらしいが今日西伯利の出兵さへ日本の目的は西伯利にあらずして滿蒙にありと支那人は一般に考へて居るのだから[illegible]

▲森戶氏を支那に招聘する事は知らない私が下關に著いた時記者團が來られて森戶氏を支那に招聘せられるかと問はれたから若し招聘したら支那學生は喜ぶであらうと答へたのが誤り傳へられたので西南大學は未だ創立中であるからそんな交涉をする事はない北京大學が或は運動して居るのか知れないが今の處では別にそんな噂もきかない▲日支合辦で支那南北に大學校及び新聞社を創設するの計畫は知らないが此れが事實であれば實に結構な事であるが資金一億圓以上とあつたのでなんだか事實でない樣に思ふ併し支那では古來十萬の事を一億と言ひ百萬圓の事を兆と云ふ習慣があるから資金の額はなにか之等の習慣から出たのかも知れないが實現せば實に結構な企て、私は之が實現せん事を祈る（東京支局）

第一義は肅清に在り
議會及其後の政局（3）
貴族院議員 伊澤多喜男氏談

四十二議會では朝鮮の問題も大分八釜しかつたが朝鮮の統治に就ては可とすべき事もある又不可とすべき事もある寺內總督の末代に於て最も可とすべき事は總て役人が廉潔であつた事で此點は實に敬服に値する朝鮮は昔時代の政治が官吏の苛斂誅求により累ひせられたのであつたが寺內總督の如き清廉潔白なる人が新政の局に當られたために其の事は實に結構に行つた去り乍ら茲に又不可とすべき問題もある我輩は

朝鮮を旅行した時に

大に感じたことは米國の宣教師が停車場へ來ると何れの驛でも四五十人の朝鮮人が周圍に集ひ恰も慈母の赤子に於けるが如く親しんで居る然るに日本人を見れば畏怖れを爲して少しも親しむ風を見出す事が出來なかつた是れは最も朝鮮同化の上に悲しむべき缺點であつたと思ふ總て政治上最高理想の實現は國家である國家には最も權威が貴ばなければならぬ恐りに卿々しき政策を取るなれば直に腐敗の子の跳梁する所となるのである我輩は嘗て臺灣へ行つた時には實に腐肉を嗅ぐが如き感じを起したけれども朝鮮に行つて見ると身體が石で緊められた如き感があつた是れは寺內

總督の政治

の特色であると思つた頑迷なる朝鮮の結社も一面甚だ結構なことである總督府は祕密結社の繁殖に用心して居ないと腐敗臭味を帶びた分子が入つて來て大局の經營の煩累となるものである當局は此邊は常に大いに意を須ゐられてるることであらうと思ふまた本議會の大問題は物價問題であつたが政府に何彼と口では甘く云ふて居るけれども實際に於て倫敦や紐育よりも物價の或物は高くなつてゐるではないか政府は質問するものに對して逆襲し然らば何か對案があるかと謂ふけれども議員は對案を持ち出す立ち場には居ない縱令對案がありとも其を謂ふべきものでもあるまい政府は其の爲めの政府ではないか適當の政策を案出實行して速かに效果あらしめるが政府の責任である今日までは役人の腰は內務省の官吏といふことになつてゐたが近頃は大藏省も內務省も役人の俸給問題で騷ぎ出したこれは物價騰貴の結果である又稅務官の收賄問題

國民教育を司る

教員や國家の干城たるべき在鄕軍人等の增俸增給問題等政府自ら物價騰貴では稍手を負ふてゐるではないか黨臭紛々たる泡沫的事業家や投機師輩にのみ幸する政治を行つて眞實に國家の堅たる可き人士を疲弊せしむる物價騰貴の現狀を放任して置く等は全く虛妄でないか政府は餘程注意せんと怖る可き問題が持上がらぬとも限らない殊に思想問題の如きも用意周到に萬事やらなければならぬ古來我國には社會問題思想問題等も險惡なのであるからあるが爲政者は相當に適當な策をとり來つた時に幕府時代にも屢々で極端なる思想は元より富の濫用等に對しては嚴重に處置して居る今日とても甚だしき奢侈を敢てしてる者などは當然取締つても宜敷い政府が濫りに虛業家を保護するが如き調子見せれば自ら社會の腐敗を招き收拾すべからざる事に至るかも知れない心有る者は最も憂ふ可き問題である（東京支局）

哈爾賓財界近狀
朝鮮銀行支店調査

哈爾賓財界の近況につき朝鮮銀行支店の調査左の如し

特產停滯 特產物の二月中に於ける在荷を見るに大豆五千五十車小麥三千六百車豆粕二百十二車豆油百六車雜穀二百四十五車合計一萬千百廿一車乃ち十八萬餘噸に達し依然として減退の跡を見ず當月中南下の數は[illegible]輸送四百車見當にして烏蘇里線より廻著されたる貨車增配により前月に比し著るしき能力增進を期待されたるに拘らず[illegible]の如き輸送成績を示すに至らざりしのみならず鐵道從業員の

不正手段 は益々甚だしく殆ど公然として驛所に行はれ特別手段に訴ふるにあらざれば容易に積出さず第一回取扱の急行便扱ひにして今尚ほ積出し未濟の儘放任せられたるものある狀態にして荷主は何れも積み出し運動に日も之れ足らざる有樣なり一方出廻り狀況にあつては上旬舊正月に差迫り馬車の入市漸く衰へ中旬以降支那側休業の結果連日に亘り全月を通じ廻著極めて僅少なりき

輸入閑散 輸入方面を見るに西伯利の形勢日々險惡を加へ鐵道輸送の無秩序不安は彌々甚しくかくて奧地方面との貿易は全然中絕の姿なるに加へ舊正月のため對支那人取引亦休止の有樣にて更に大口の荷動きなく近來稀なる閑散を呈せり然りと雖も永らくの日貨排斥により在庫商品の手持品意外に手薄にして舊正月明に於ては此の方面買氣旺盛を捲へ居れり

貨幣市場 轉じて貨幣市場を見るに如上の如く輸出入方面とも極めて閑散にして當行貸出の如き回收に傾き居るに拘らず當月中の銀行券發行高は五百萬圓の超過にして露貨暴落のため永らく中止されたりし[illegible]近く開始せられんとするの狀態にて忽々實現の曉に於ては更に大口の動きを見るに至るべし而して月末に於ける露貨相場を示せば ロマノフ 小札六百五十留 クレンスキー二千八百留 西伯利札一萬二千留 見當にして前月末に比しクレンスキー西伯利紙幣共に多少の低落を見たるもロマノフ小札は東清沿線關係の需要旺盛なるため獨り強含

金融狀況 輸出入貿易上述の如くなるが故に全月を通じ金融極めて緩漫にして新規貸金の需用更に起らず去月末に比し貸出に於て九十五萬五千圓を減じ預金は反對に百〇一萬八千圓の增加を見るに至れり

現物市場開始と電信施設
矢野監理課長談

京城に於ける電信發著の近況及び現株市場開市に於ける施設に就き矢野監理課長は語つて曰く近時一般財界の好調に應じて成功せる所謂成金輩が稍もすると左程急を要せざる事項をも電報にて處理する傾向あり又料金が餘り高からざる爲め隨分省略し得べき冗語を用ゆるもの少からず之等は電信發著の遲延をなす一因なり其他社會的事變の發生、例せば昨年度の流行性感冒の如きも當時發信數の約三割は同事件に關するものなりき、更に電信發著遲延の原因は從業員の不足と線の故障にて目下京城東京間の一線は不通となり復舊工事中なるが之は遠からず順調に復せしめる筈なり從業員中配達に屬するもの、不足より配達遲延を來すことあるが之れに就ては受信者に於て郵便局の配達を待つ迄もなく自ら局に出頭して受取る方法もある故之を實行されたし近く現物市場開市の曉には京城大阪間は更に一線の增設をなす必要を生ずるやも知れず然し先づ差當り左程の施設を要する如きことはあらざるべきも現時東京大阪に於て實施せる如く取引所內に發信所を設けチッカーにより各仲買店に相場の出來値を同時に通報する等の機關の設備をなし迅速を期するの要ありと信ず

實業銀行許可

出願中の朝鮮實業銀行は東京に於て既に齋藤總督の決裁を經たりとの情報あり許可の指令近き模樣につき右許可に接し次第發起人會を開き創立委員を選定して各般の創立事務を推むべく[illegible]

移民償還好調

東拓京城支店に於ける移住民の大正八年度中に納入すべき土地代金及び利息貸附移住費元金及び利息立替地稅公課金貸附物品等の償還總額は約四十三萬圓にして二月末日までに徵收せしもの約三十五萬圓にて約八割强に相當し[illegible]一部のものを除きては概して納入成績良好なりと

商議豫算認可

京城商業會議所九年度歲入出豫算案（歲入出共に金六萬八千十三圓）は總督に對し認可方申請中の所三月九日附認可の指令ありたり

鮮銀重役會

朝鮮銀行にては[illegible]上中の美濃部[illegible]

公募株割當期

京城現物市場創立事務所にては十一日創立委員會を開き協議の結果[illegible]公募分の割當決定に[illegible]割當通知は目下の所未定[illegible]後發送の豫定なり尚ほ第一回拂込は十六日より二十日までの[illegible]

津田氏出馬乎

[illegible]取締役津田[illegible]氏は[illegible]三區より政友會系公認候補として出馬の意あり目下[illegible]

人事消息

▲吉田英三郎氏（[illegible]） 十二日[illegible]
▲佐々木慶南道知事 十二日[illegible]
▲奈良中將 [illegible]十一日夜入城[illegible]
▲吉田角之進氏（清津府尹） 同上
▲矢島音次氏（全南第一部長） 十一日夜入城
▲小勝飛行中尉 [illegible]
▲和田飛行中尉 同上
▲田中飛行中尉 同上
▲秋吉英三氏（[illegible]） [illegible]
▲龜井[illegible]氏（[illegible]） 十二日[illegible]
▲淨法寺師團長 十二日[illegible]
▲吉澤師團副官 同上
▲山田師團參謀長 北部より十一日[illegible]
▲木村謙吉氏（步兵大尉） 十一日[illegible]
▲平川恒治氏（一等主計） [illegible]
▲早田師團軍醫部長 [illegible]
▲高島師團長 [illegible]
▲佃一豫氏（元滿鐵理事） [illegible]
▲松本正寬氏（[illegible]） 同上
▲吉植庄一郎氏（前代議士） 同上
▲眞崎甚三郎氏（步兵大佐） 同上

寸塵

▲米國で[illegible]に大軍艦を建造してゐるが近く四萬三千噸の戰艦を六隻建造する筈だ▲米國は偵察巡洋艦の有力なるものが無い、歐洲戰爭中陸兵輸送の護衛に好成績をあげた「チエスター」「サーレム」「バーミンガム」等は最近の情勢より見て瞭かに遲速且つ小型に過ぎる▲新型の偵察巡洋艦は今や五千噸より一萬噸の大きさとなり、其速力は三十浬乃至三十五浬と進んでゐる、偵察艦の速力は絕對に必要であつて、現下の巡洋艦が既に如何なる大帆にも係はらず二十八浬乃至三十二浬を出し得るのであるから本艦隊の遙に前方に占位して戰鬪する偵察巡洋艦は更に速力を持たねばならぬ▲米國は戰爭參加前既に三十五浬の偵察巡洋艦十隻を建造すべく決定したのであるが、十隻では不十分であるから、更に十隻を追加建造する必要がある、右の偵察艦が如何なる設計の下に建造せらるゝかは明かでないが、最初の設計に不滿足なる點のあつたのは明かであるから、今日より見て完全の者とする必要がある

……立會の下に種々協議を遂げ……多大なるものあるを以て……の新……對し其の融す
れが本組合設立の根本要件にして尙慎重審議の上關東廳に對し

炭價の昂騰

當地貯炭 炭の需要如何を問ふの遑なく種々あるも先づ最上にして供給越にて更に五圓乃至十圓方の値を加する事となし其他の新稅なりと
額の大激減は石炭業者も在來の ひ合の姿となり價額も暴騰して その範圍廣きは高島炭なるが同坑上がりは免れざるべしと見越さ
目下一定の標準相場なく一萬斤 使用坑夫の多くは流感に冒され居れり
きも英國の戰費の一部を印度に於て負擔する事となせりと

棉花輸入激增

二月下旬に於ける輸入棉花は米棉四……增なり而して本年一月より二月……れば六萬七千九百八十六俵の激……百八十七俵大阪十二萬七千五十八俵橫濱一萬六千十俵合計……棉花在荷は神戸二十三萬七千七……

門司……式會社……立せ

金融逼迫
滿洲經濟界の憂ふべき前途

過去兩三年來の景氣に引きかへ昨年末來金融業者の引締め漸く其の度を加へ最近に至りては特に商物資金の需用必要なりこの口實の下に其の他の商業資金及び事業資金の貸出を絕對に引締めたる結果金融は愈々逼迫し市況頓に沈衰し株式界は日に日に不景氣となり特産及特産市場には産物薄も買手なしの商狀を呈し去月末頃安東大連にては既に二十錢乃至四十錢の日歩にて望み手多しと他處事に言ひ合はしてのが最近に至りては既に奉天に於ては其城を突破し日歩一圓にて羽が生ゑて飛ぶ極めて突飛なる狀態に立つに至れり斯くの如きか流石に好景氣を以て目されし奉天乃至は滿洲一帶も掌を反すが如く各所に破産者倒産者を續出し遂には拾收する能はざるに至るやも計り難しとて各方面共非常に苦慮しつゝあり(安東)

滿洲林業
大規模に經營 西伯利も有望

滿洲各地森林狀態調査を遂げ今回歸東したる日本紙器株式會社の田島志一氏列車中にて曰く▲吉林省內森林附近の大森林伐採は以前露國人の手に經營され居たるが今回我社に於て之を繼承することゝなり既に

製材に著手

したるものなるが廣漠實に三十萬町歩を有する大森林にして哈爾賓を距る十數里の地點にあり今後約十ヶ年に優に伐採し得る見込なりと云ふが最初同社に於て馬賊の被害を慮りて多少躊躇し居たるが愈々經營するに當つては馬賊の操縱案外容易なるを發見し金を與へて彼等を懷柔し之が

被害を防止

しつゝあるが彼等は又少許の金に依り喜んで山番等なし居る有樣なり本邦に於ける森林は北海道の如き今後僅に十年の命脈を有するに過ず從つて製材の如き是非共之を北滿若くは西伯利方面に求めざるを得ざるを以て沿海州方面を調査せるがウスリー線一帶は頗る有望にして幾億萬町歩の

大森林蜒々

として連續し殆んど無盡藏の觀あり頗る有望のものなるが目下過激派の跋扈甚だしきものあり事業の經營容易ならざるを以て暫らく時機を觀望するの外なきが早晩何等かの方法を以て着手するの日あるべきを信ず」云々

在家僧(五)

咸北 慶興郡廳調査

(己)職業は專ら農業に從事し日雇勞働の如き一定せざる業務に依り衣食し居る者なし

(庚)在家僧に特有の業務として認むべきは該僧側の人民は一般の鮮人婦女子用の籠(麻苧の紬ぎたるを入れ又は裁縫用具等を入れるに使用する物)を萩を以て制作する慣習的業務を有し之が販賣に依り多少の收入を得るの狀あり尤も在家僧に對する古今の變遷に就いては其の關係詳ならざるを以て記述し難し

社會上の地位

在家僧の周圍に及ぼす影響の記すべきものなし而して該僧に屬する人民は一般の常人より常に輕賤せらるゝの狀ありとす

起源沿革

咸北 會寧郡廳調査

起源沿革に付ては二說あり

(甲)茂山嶺以北は野人の居るところなりしを以て時の政府は僧軍三千を以て茂山嶺を守護せしむ所謂屯田兵的なりし也之五百年前の事に屬す後二百年滿朝の世となりて淸市を設け尙必要の場合あるべきを以て豫め大乳女を集め置くの交渉ありて大乳女を集めたるが此の大乳女は後に僧軍と婚せり是三百年前の事にして大乳女は容貌の美麗なるもの多かりしを以て其子女に容貌の美麗なるもの多しとの俚說あり而して是れ等は其後茂山嶺附近の山谷に群居し此の附近の樹木保護を爲せり是等の督は古豐山鎭魚使之を爲して其首領を僧統と云ひ郡守赴任每に見身と稱し郡守に挨拶に郡衙に來る其時は戰服を著せり其帽の上邊は丸くして帽の上に孔雀の尾を著け紅鮮毛を付せり其の帽の紐を瓔珞と云ふ而して公課を免ぜられ其義務として北黃紙を製造し政府に獻上せる咸北北靑紙は實に此の僧の製造するところなり

(乙)高麗恭愍王の時即ち今を距る五百四十餘年前女眞を逐はれ朝鮮に歸化せるもの僧となり山谷の間に居住せり後南韓より流寓し來りたる僧俗とも其女を娶り同じく在家僧となれり其の後明治三十七年頃還俗し常人と同一となれり

▲備考 在家僧に就て其祖先の事蹟を問ふも彼等は不知と答へて詳しく語ることを厭忌するの狀態あり

風俗習慣

(甲)常人と雜居せるも是れ常人が在家僧の部落に雜居せるものにして在家僧部落なることは一般に知りて多少擯斥せらるゝ而して其居所は概して不潔なり而して家の構造は八角を設けたるを得ざらしめたり

(乙)常時の衣服は異なるとなきも佛堂に出入するときは法衣を著せり即ち弁を被り長衫を著て而して帽は松落冠、竹冠、松尾冠等なり、倘ほ人に見又は辭する時又は他家に出入する時は必ず合掌低頭す

(丙)婚姻に付て別に異ならざるも轎に乘るを得ず新郎新婦とも馬に乘れり而して女を呼んで新直と爲す緣組に付ても一定の習慣なし只子なくして婚あるものは婚を以て世を繼がしむ

(丁)無論佛式にして死體前にて誦經後火葬す普通は土葬なり

第二印象(三)

若松仁取社長

一記者

▲小柄な人でその前額が禿上り頭髮は薄い一見初老と見ゆる、ハア〳〵など云ふ所、如何にも善良な如何にも正直な人と思はる▲外交官から永い間朝鮮の地方官を勤めた人だ、去年の春仁川取引所が大失態を演じその整理のために百萬圓に增資して基礎を固むるや、君は釜山府尹を退いて取引所社長の椅子に就いた、內地の取引所社長は大テイその道の老巧者によつて占められてゐる、仁川が官吏上りを迎へたのは一寸異例とも云へやう▲取引所社長と云へばまあ活馬の目をぬくやうな敏捷な人を思はする、東株の郷大株の島德川來た大連の小泉の各君皆然り若松君の如き謹厚篤實の士は事實珍らしい▲君の社長就任前君を社長に入れたら四角四面で融通は利かず嚴格な事ばかり云つて商內は滅茶苦茶に減らうと百人の中九十九人まで云つてゐた、所が事實は豫想に反し意外の好成績で年十割も利益が擧がると云ふ商盛を續けてゐる▲米相場は人氣の裏を走ると云ふが君の社長就任後の成績も人氣の裏を走つた觀がある然し、餘りに儲かりすぎるので君はその處分に困ると云ふ狀態らしい儲かりすぎて困るとは面白い又わるくも無からう▲官選の社長でその地位も固からう唯仁取の前途には色々の問題がある增資增配更に節商內など君が社長として總督府の意向を體し又株主の滿足を買ふて行く事は段々困難になるかも知れぬ君の前途は此の間に善處するや否やによつて分る▲仁取は仁川の生命であり朝鮮唯一の米價公定機關であるその首腦者たる君の責任は重且つ大だそれに何かと云へば問題を起し易い不斷の要心が肝腎だ

倫敦だより(五)

木村雄次

在英の爲替なるにも拘らず勞働は費用の如何に御構ひなく互資を强する炭坑國有、鐵道國有を主張するあり、英國財政の前途誠に計り難きもの有之候されば此の際政府の組織を縮少するは改造計畫中緊急の要務にて首相ロイド、ヂョージ氏は戰時內閣に代るべき十二人の閣員より成る內閣を造るべしと傳へられ居候其の他英國財政の膨脹か輸入超過か組織しストライキに苦められつゝある國民經濟に結局更に壓迫を加へ候嚮には如何相成るべきやと英國識者の最も患ふる所なるはタイムスモーニングポスト等の論說の近時漸く悲觀的色彩を帶ぶるに見て明なる所に御座候

然れ共千古未曾有の大戰を經過せし社會が僅々半年や一年にて原狀に恢復すべしとするは謬想の甚しきものにて、少くも健全なる分子は根氣よく回復の業に從はんとするもの、如く愛許七八年間は鳴かず飛ばすの隱忍期と諦め居るらしく候得共他國の進步は如何に大國民と雖も氣にかゝるものと見え日本の造船高や米國の造船計畫をあげては國民を勵まし米國か佛國へ石炭其他の貨物を輸出したりとて嫉妬がましき口吻を漏らし居候之れ亦致し方なき所なるべくと被存候要するに英國民の元氣にして消磨せざる限りは必ずしも悲觀の要可無之歟

翻つて民間の氣風を視察仕候に新聞紙は頻に國民の奢侈に赴くを非難致居候得共小生共が米國を經過し來りし眼より見れば米國民の服裝は新橋の藝妓にも比すべく、英國民の服裝は堅氣の御神さんの風にも比すべく、豪奢贅澤到底同日の談に無之紐育のブロードウエーの明皓々夜中尙白日の下に在るが如きに反し倫敦のピカデリーは提燈なくして行くを得ざるが如き位なるに見れば必ずしも英國民が奢侈の風を趁ひつゝありとも申難く候且つ戰時貯金委員は平和貯金委員と改稱して依然として活動を續け居り申候

若し幸に勞働不安が一掃され關稅によりて理想通り殖民地との關係が一層親密となり候はゞ大英帝國の前途は固より萬々歳なるべく候是に於てか國民精神の發揚宗教教育の振興は最も重要事たるべくと被存候

尙在當地在留日本人の重なる諸君とは大概會談を遂げ申候得共別に記述御報可申上程の事も無之且つ夫々商機に屬するものは文書を以て御知らせ申すには甚だ不適當と存候間歸朝後拜眉の上委曲御物語仕度候來る十一日は倫敦を立ち出て英國內の所々を視察するの豫定に御座候が一行悉く頑健且つ既に英米の思潮に觸れ過ぎ間々個性の强力なる主張を爲し候には隊長も時に困惑の體に御座候何々終に臨んで閣下の健康を祈上げ候敬具

財界閑話

▲朝鮮の貿易はその輸出入の權衡に於て內地とは反對である▲內地は上半入超だが朝鮮は下半入超と云ふ事に大勢はなつてゐる▲即ち母國下半の出超は生絲の輸出晩夏頃より增進するからである朝鮮の上半出超は穀類移出振ふためだ▲內地が二月末までに一億五千萬圓の入超を騷がしく云つてゐるのに朝鮮は反つて八十七萬圓の出超を計上してゐる▲過頃から朝鮮實業興業會社では技術部の社員約十名を馘首した▲右は退任重役風間君の系統に屬するものを放逐したので乃ち社內の改革と云ふべく多少の齟齬はあつたらしいが右のため事業の進行に支障を來すが如き事はないさうな▲序でに同社では技術顧問として元撫順炭坑長米倉清族博士を招聘したとか▲現株公募申込に對する創立事務所の割當は極めて公平に行ふやうだ▲芳林主任のお自慢のやうに朝鮮としては新記錄だが公平な新記錄だけにほめてよからう▲割當が十四日夜拂込が二十日までその後拂込の催告期間、創立總會の召集期間を見▲更に開業準備仲買人の詮衡となるから開業も五月一日は六ケしいかも知れぬ

ネッスルミルクフード

卓越セル効果ハ日本ニ於テモ充分認メラレ、ソノ需要ハ益々增加シツヽアリ

小兒虛弱者及ビ老者用强壯營養物肺病患者之福音
醫師諸氏ノ御推薦ヲ辱レリ

左記申込書ヲ切拔キ住所氏名御記入ノ上送料包裝費トシテ郵券金十錢ヲ添ヘ御請求被下候ハヾ見本包一個御送付可申上候

切拔 京

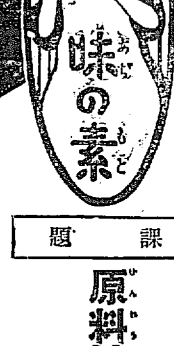
拵許郵便切手金十錢也封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候
年 月 日
橫濱郵便局私書函第二〇四號
ネッスル及アングロ、スヰス煉乳會社行
住所
氏名

▲精米業、籾、糠
▲雜穀、質屋業

京城本町四丁目
佐野仁作商店
電話一四九二番 電略(サ)
振替京城七四〇〇番

朝鮮古郵券販賣
目錄無代進呈

懸賞



「語呂合」募集

課題
原料は小麥味の素

「語呂合」募集

賞品

天 貳拾圓勸業債券 壹人
地 拾圓勸業債券 貳人
人 萬年筆 參人
選外一等、三食獻立料理法 十五人
同 二等、新容器入味の素 廿人
同 三等、味の素(小瓶) 五十人

東京市京橋區南傳馬町一ノ十二
味の素本舖 鈴木商店廣告課宛
電話京橋(三)〇、三三二、三三三

規定

一 御投稿は官製葉書に限る事
一 此懸賞廣告を御覽になつた新聞名
一 御投稿は三月卅日限り
一 當選發表は五月上旬

春は殊更お化粧の善惡が目立ちます!

レート白粉

一寸鏡を……御覽になつても御自慢の出來るお化粧はレートの上品なお化粧振

上品なお化粧

三越の實驗

レート白粉の優れた美くしさは常に三越のお化粧室で實驗されて居りますから御來客に御覽下さい

レート化粧料本舗
東京・大阪
平尾賛平商店

＝說明＝ 本社が大邱に於てサ式第五千三百二十六號に託送したる乾板中より(大邱離陸の前)(向つて右より)坂本大尉 田中中尉 小關中尉 和田大尉 左端は京城上空に撒布した「飛行將校の感謝ビラ」(京日號中を通じて)

ソ式一機大邱發

先づ京城に向へり ＝軍司令部公表＝

陸軍飛行ソ式一機は十二日午前九時四十分大邱發京城に向へり(十二日午前)

三機翼を並べて 京城に向ふ

大邱市街上空を三周して出發

大邱に二泊せる陸軍大飛行の三機は十二日午前九時三十分翼を並べて離陸し市街上空を三周して京城に向ひたるが三機一時に機翼を碧空に張りて三周せしは壯觀なりき(十二日午前九時四十分發大邱特電)

疑問の死体

本町の溝中に横はる 他殺か自殺か

本人は醫學專門學校二年生清水房雄こ判明

十二日早朝本町四丁目、五丁目間を流るゝ溝中に内地人の死體あるを通行人某が發見本町署に通報したれば同署より司法主任檢醫を初め 數名の警官 現場に馳け付け死體を引揚げ檢證したる結果懷中に『東京市小石川區(町不明)小西三雄方檢山久雄宛ハガキあり差出人は京城本町三ノ九一渥美方清水房雄こあり且つ所持品に醫專の徽章一個及び所持金十數圓あり 死因に就て は他殺か自殺か未だ不明なるも現場は高さ六尺位の石垣なるこ同夜飲酒泥醉し居たりこの事なれば或は溝中に墜落して腦震盪を起し死亡したるにあらざるか尙下宿主人渥美小七郎は語る『清水さんは大正七年四月十五日から下宿して醫學校に通つて居られました 目下試驗中 で明後十四日終了の筈でした昨夜(十一日)は何處で飲酒されたか大分醉つて午前一時頃歸宅されましたが三時頃再び家を出で遂に歸宅されませんでした家では既々酒を飲まるゝ事もありましたが至極眞面目でした又二週間位前釜山の中學校長こかいふ叔父樣が來て酒の事に就て 懇々說諭し て歸られました』醫學專門學校教授某は語る『彼れは學校では餘り出來る方ではなかつた而し學校を缺席する事は殆どなかつた性質は淡白な樣で其の實沈鬱の性だつたが運動抔に庭球などは熱心に行つて居た教師及び同僚間に於ては受の惡い方ではなく 人に對して も餘り多言するのでもなかつた又清水は高襟?を裝ふ風があり且つ飲酒する惡癖が有たから學校でも度々注意した事がある鄕里には母及び兄弟があり五六萬の資產を有して居る相だ』午後二時迄本町署にて詳細死體檢證中にて測り難く或ひは醫者死亡せるか詳細は後報すべし因に本籍は山口縣豐浦郡豐東村にして現在は本町三ノ九一渥美小七郎方醫學專門學校二年生清水房雄(二三)なる事判明せり 犯罪を構成 するやも

孝德殿移安の儀

[illegible] 故李太王殿下の御靈を奉祀せる孝德殿は[illegible]に於て變更[illegible] 近時巷間に於て李王殿下毒殺せれたりと傾[illegible]如何やなど多少危惧の念を抱く一部の鮮人ありしに拘らず御機[illegible]列は肅々こして大漢門を出で[illegible]金町三丁目を左へ觀水橋を渡り[illegible]色美しき紗籠は其數六十を數へ金鉞斧[illegible]巡査之を護り[illegible]典祀、[illegible]從ひ出納[illegible] 昌德宮内へ移安し奉安[illegible]

第七回婦人見學團

着陸場にて實物に對し飛行講演

本社は軍司令部こ交涉の結果飛行機滯在中婦人見學團を開催する事こなれり時日は決定せざるも飛行將校が實物に就き講演すべし詳細は追て發表す

主催 京城日報社 每日申報社

將校宿舍燒く

損害時價卅萬圓 龍山の七八聯隊

十一日午後六時半龍山歩兵第七十八聯隊第二號將校合同宿舍より發火折柄の烈風に煽られ紅蓮の如き焔は見る／＼木造全部を甞め盡し約三百坪の二階建煉瓦作りの大建物は周圍の煉瓦を除すのみにて仲は悉く烏有に歸したり右の急報に接し龍山警察署龍山消防組を始めとして歩兵工兵等が時を移さず出動消防に盡力したるも 何分風烈し き上水の便惡き爲め意の如くならず辛うじて午後十時過ぎ鎮火せしめたり原因は炊事場或は風呂場なりと云ふ目下取調中損害は當時建築費九萬八千圓なるも時價に積れば三十萬圓を下らざる見込みなり右宿舍は宇都宮軍司令官々邸に 近接し居れ る事とて一時は中々の騷ぎなりしと

龍山將校官舍の火事

秋風嶺の霧晴れて

朝來絶好の飛行日和

十二日朝來雲霧に閉されたる秋風嶺も午前九時前後に至り全く霽霧を見ず碧空快く晴れて絶好の飛行日和となりたり(大邱特電)

眞に推賞に値する

陸軍大飛行に就て 有川航空學校長談

所澤京城間大飛行は國防上極めて必要な事で數年前から企てられて居たのであるが當時の技術では所謂今日の如き 簡單な設備 では飛行し得無かつたのである而して往路も自分こしては四機共に安着する事を豫期し居つたので此點から言へば全體こして餘り好成績では無いが個人的には何れも可成の好成績であつた出發に際して自分の最も困難であらうこ思はれたのは 所澤廣嶋間 で二月以來絶へず西風の烈しい長距離に殊にソ式が參加したこ云ふ事は海峽橫斷以上に六ケ敷い事だこ思つて居たが各飛行將校得意の手腕で彼の好結果を得た安著中の著陸も何等中尉の責任で無い計りで無く却つて 狹い場所に 落陸して少しも機體を損ぜしめなかつたこ云ふ事は寧ろ甚だ技術の賞讚す可きものがあるこ思ふ田中中尉も海峽橫斷に際して發動機に故障を認めたに拘らず突奔其故障程度が克く海峽橫斷に堪ふ可しこ判斷し豫定著陸地こしてあつた三浪津に無事著陸して其 天嶮を突破 したこ云ふ事は判斷の正確こ共に適當な所置こして眞に推賞に値する往路は西風を背にするを以て往路より安全なり(東京特電)

青年改造の西岡氏等

告發さる

過般來山縣公に面會し時局問題に就き公の助力を得んこ再三訪問面會を强要せる青年改造聯盟の西岡竹次郎其他五氏は警察所の手に依り小田原に召喚され告發されたり(東京特電)

◎妙心寺別院提唱 臨濟宗妙心寺別院にては十四日午前十時より後藤瑞巖師の碧巖錄提唱あり隨意

おつの字

新橋千代菊家の高千代は二三日前夕刻南大門驛喫茶店からプラットホームに出て發車時刻には未だ早いにも拘らず直前の三等車に乘り込み『コリヤ違ふ』こそれから三等車内を通り拔けて二等車の隅に腰掛けてやつと腰を下した此女、字が讀めないのか知らぬが其所に同乘した顔馴染のお客様に『オイ仁川へ何しに行くの？』『エ、仁川の伯母さんの家が今日四十九日忌なの！』は宜かつたが千代の伯母さんが仁川にあつたから不思議な譚▲七日夜寳舘でモッコ會の藝題『新聞の上』は餘程仕付けの劇丈けに觀客の婦人連をして大分歔欷せしめたが切りの舞台の『義理』で泣いた婦人はたつた二人、其一人は何處かのお嬢さん、モ一人は七千圓持參金付の京城爲替家の吉瀾で人目を避けては、ちよい／＼ハンカチを目に押し當て拭うて居つたが成程吉瀾があの爺を觀て泣いたのは無理はないと同情して居た見物人があつた

大連に武德殿

工費五十万圓

滿洲武德會支部は大連に武德殿を建設する計畫にて工費を五十萬圓こし發起人會を開きたるが發起人中より二萬圓即座に寄附を申出でたる状況にて前途有望なり(大連特電)

義太夫界隈

▲二三日前の夜某古恋天狗連の義太夫の稽古場で『京城の稽古場も裏面へ廻るとお話にならない』さいふのが内頭に膽を寄した或師匠が或紳士が某稽古場で顛倒させられたとか酒に醉つて深夜稽古場へ行つたら斷られたとか何や彼や並べ立てると其席に居た或老人が『君は天狗らしくない、稽古場は云はば別世界であるからこの門を潜つたら大に悟りを開いて慾しい、天狗といふのは人間で無い、何人な智者でも學者でも稽古場に入つた時は天狗の面を冠つたつもりで義太夫の法螺が吹いてゐれば好い、總じて稽古事は斯う云ふもの、殊人やその家族が彼れ是れ云ふ事を取上げて腹を立てる位なら稽古場へは出入すべからず』と一本參ると某天狗連さ怒り『それ稽古人の肩が持ちたけりや斯うしてやる』と突如老人目覺けて盃を投げつけたので落花狼藉、一座總立ちとなり藝妓は悲鳴を揚げて座敷を飛び出す、飛んだ大活劇の一幕は活動寫眞以上の見物であつたと花柳界の噂 評判、サテこの納まりが何うなつたか

演藝

▲大正館 十二日より新寫眞と差替へ▲滑稽『袋鼠』▲活劇『士官の妹』三千呎 伊與藏線『コリッアの激戰』六千呎▲喜劇『一刀舒ご典膳』六卷 ▲喜樂館 十二日より新寫眞と差替へ▲滑稽『埃及の遺跡』▲連續活劇『運命の指輪』▲滑稽『醜業婦』▲新劇『出世太閤日吉丸』

謝近火御見舞

朝鮮軍司令官官邸

お寺と教會

▲護國寺(旭町) 十二日は宗祖日蓮聖人の御待夜にて午後七時より法要例月講演こして宮田海勇師の『聖こ凡』こ題する講演あり ▲日宗婦人會 十三日午後一時より思訪法要嚴修し同二時より高橋顯道士の趣味講演後『婦人改造論』こ題する講演あり ▲日本基督教會(黄金町) 十四日朝拜午前十時牛島師の講話あり『之敎訓』中口牧師、說教講演午後七時半同師

盜人の舊惡

住所不定住所不定[illegible]は二月二十日府內清進洞洪昌植方より外套一着三十圓及九十一羽二重周衣を竊取したる事發覺し同署に檢擧取調中の處昨年九月二十日公平洞一四二金洪錦珠方より十八圓餘の眼鏡及本年一月三十日水洞四七料理店律永錫方より靴一足十圓を竊取したる舊惡迄自白したれば十二日竊盜罪にて檢事局に送らる

寄贈芳名

本社募集の慰問袋(到著順)

釜山	高口喜市
同	相馬西賢
同	内山良治
同	吉田德平
同	吉岡三次郎
同	山内源
同	小川七三郎
同	田邊右衛門三
同	寺西緒一
同	宮橋語一
同	濱本隆常
同	黒瀨秀雄
同	矢野進
同	佐藤仲吉
同	橋本秀
同	橋本秀五
同	釜山水上警察署 石井虎吉
同	蜂元小六
同	荒木與四郎
同	田村今吉
同	岡田末吉

煙草＝珈琲＝心配 無理な勉學＝不眠

殆んご腦を破壞せし某大學卒業生の自白

或る大學生が次の樣なことを云ふて居たことがある、余は少年の時から强壯で血色も能く頭腦明晰で何事も忘れた事はない、他人からは、おまへは袋耳だ活字箱だこ云はれた、中學時代からポツ／＼煙草を喫み初めた、又勉强の傍ら毎日三回宛一盃コーヒーを飲んだそれが習慣こなりて煙草が止められぬ、高等學校へ行く樣になりてから大變身體の樣子が變つて來た夜は安く眠られなくなつた、瞑ける事は貧ないこ自慢して居つた僕が今や平生の半分の道も呼吸を繼がなければ走れない樣になつた、快活な性質が消ゑ去つて意地惡く神經過敏に又根氣なくなつた冷靜に物を考へる事も出來ず目まゐはする、頭痛はする頭が重い耳はなる肩は凝る何を見ても樂くなく又聞いても面白くない精神は日々に衰へて不愉快で不活潑で何となく陰氣で世の中のが嫌で／＼たまらなくなつた寧ろ死んでしまうかしらんこ思つた、こんな狀態が續いた余は全く失心して居つたのか其理由が知らなんだそこで自分は山師藥の即ち自分の病氣が治つたこか、いろんな事を云ふて居る藥を飲んだ處が何の効もなかつた終には某博士の診察を乞ふたところが余に莨、コーヒー、房事無理な俄勉强を止めよこ話して吳れた、そこで病氣は何かこ聞いたところが、それは腦神經衰弱、婦人ならヒステリーの重いのだこのことであつた。そこで余は岡田博士を初め諸大家の賞讃措かざる健腦良劑レーベンを用ひしに、ありふれたる下劑本意の一時抑への瞞著的の粗製でなく空氣の壓迫に依りて溶解奏功ある水分に遇へば直ちに溶解奏功ある新式の錠劑であつた而して服用後は追々こ安らかに眠り明瞭に物を考へ何こなく面白くなつた事が氣附いた、それから學校の方も段々こ都合よく卒業して今度文官高等試驗も及第し世の中に雄飛することの出來る樣になつた、故に余は健全な現今でも神經の營養法こしてレーベンを用ひて居るのです識にレーベンは、絶好の腦神經衰弱療法であるこ信じます云々こ世間若し腦神經衰弱を憂る人あらばハガキにて申込みあれば藥用の如何に拘らず病理症候及び其攝生法を詳述したる常持醫學士の著『腦神經衰弱療法』こ博士學士の『精神療法』の二冊子を無代進上す希望者は遠慮なく東京市銀座町二十二番地、弘濟院、中南定太郎へ申込あれ

天氣豫報

氣象日報 十二日

最新刊

西鶴の新研究 鈴木敏也 一、八〇
親和力 久保正夫 一、五〇
哲學綱要 桑木嚴翼 二、三〇
我子の職業選擇 稻葉幹一 一、八〇
悩める森林 多田不二 一、六〇
それからの漱石の猫 一、八〇
千年の門 藤澤 二、二〇

京城本町一丁目 大阪屋號

京日案内

申込後中途掲載中止は料金不返戾 ▲六回以上の申込は特に割引の事 普通七十錢 一回前金 番外一回前金壹圓二十錢

月收ノ御方へ極秘迅速信用融通 諸公債株券債權保 京城大和町三ノ三二 起木賢

看護婦及見習數名至急募集す 志望者は本人來談のこと 仁川 佐藤病院

監督員募集

內地人年齡三十歲以上體强壯、希望者は自筆履歷書携帶十七日迄に來談採否は廿五日迄通知 本町五丁目京城印刷所

▲質店讓り度し

京城市內目拔の場所都合に依り內地歸國に付居拔い儘讓り度し (姓名在社)

◎店員募集

十六歲より二十歲迄 京城本町二丁目 丸一吳服店

▲古本高價買入

破格 御報早速參上 本町二ノ五九 電話八六五番 本店 本町二ノ三七 文光堂 支店

古ミシン高價買入

電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店

▼店員入用

京城本町 大和軒 電話四八九番

女事務員一名入用

但シ簿記ニ經驗アリテ市內ニ保證人アル者ヲ要ス希望者本人來談アレ 京城本町二ノ九 田中株式店

▲第一種料理店讓店あり

內地引揚げに付き 希望者は 京城南山町一丁目松葉亭迄

◎算筆に巧なる內鮮人各一名入用

京城南大門外 齋藤商店

▲乳母入用

京城南山町二丁目 電話七二三番 天眞樓 仁川山手町二丁目 新田

▲求貸家▼

京城中央會社事務所向 通知又は周旋の方には相當謝禮す 電話七二三番 京城南山町二 天眞樓內 野田

給仕採用

鮮人年齡十五六 普通學校卒業程度 京城黃金町三ノ二九一 太陽生命保險支部

▲賣家▼

府內中央住宅向數棟坪數六十餘五十圓以上にて望みの方は必ず書面にて下名へ 京城日報社內 柴田

太平通一本町四

何れも目拔の場所に數百坪宛の賣物あり 橋本信託事務所 電話一八二七番

瀨戶 外科 皮膚科 醫院

京城旭町二丁目(電二一四九八番) 診察夜九時迄 醫學士 瀨戶潔

◇十二封度レール 六哩 附屬品完備
◇シーメンス鐵板 厚切 一五〇噸
右手持有之候間何卒御注文被成下度候 農具材料恰好品
平壤黃金町 福莊商會平壤支店 電話長四二八番

昨夜當聯隊將校第二號合同官舍火災ニ際シ早速御見舞及御援助ヲ辱ウシ難有奉謝候混雜中御尊名伺ヒ漏モ可有之不取敢以紙上御禮申上候

三月十二日 歩兵第七十八聯隊將校團

書畫骨董大競賣

朝鮮貴族某子爵家所藏書畫骨董什器千餘點賣却方依賴相受左記次第により大競賣施行仕候也

一、品目 伊藤公書並日鮮諸大家書畫幅屏風及高麗燒並に古器物日本塗膳椀火鉢其他
一、日時 三月十三日下見 同十四五兩日賣立
一、場所 京城府黃金町二(東拓トナリ)淸香園

主催 京城骨董會

鑛山用 工業用 △水銀 荷著
保税品 有税品共廉價販賣
京城本町三丁目 天然藥品貿易商 藤澤商店京城出張所 電話一九〇五番

自動車 乘用 貨物用

東京瓦斯電氣工業株式會社製自動車取扱致居候に付多少に不拘御用命願上候

輸出入業 並代理店 釜山本町四(販賣代理店) 田中善株式會社 支店 京城、大連、奉天 上海、天津、漢口、香港

皮膚科 黴毒科 外科 エツキス光線科 ヂアテルミー科 安部醫院
京城永樂町二丁目馬場毛皮商橫入 (電話四一九) 安部修三

我邦航空史上の新記錄、所澤京城間陸軍大飛行
鵬程八百哩を翔破して
春風長驅三機翼を連れて京城に入る

李王殿下御親祭
列次の長さ數丁に亘り沿道人垣を作る稀有の盛儀

…如く三日…昌德宮內に御移安ありたるが此日午前十一時昌德宮御出門李王殿下御親祭を行はせ給ふ…りに荒唐無稽の說を流布し民心の動搖を企…あるを以て御出門…移安の由を告げ參らする後、定刻午後一時三十分御行…

告由祭を行はせ給ひた

…巡査を先導に黃龍旗、黃蓋、朱…旌を風に靡かせ黃漆交椅…午鞠子、翊輿之に次ぎ鼓吹、樂師…銅吹、樂師、侍衞の順を追ひ中央に神輿は延臣十人にて舁ぎ徒步…黃陽繖、水晶杖燦として陽に輝けり。傍に挾床、瞻菜の椅、黃日傘…王殿下、公殿下を始め李…長官、國分次官其他李王職武官長、贊侍、典醫其他御宗族、貴族等陪從し參らせ恙なく…るが列次の長さ數町に亘り沿道堵列の群衆人垣を作りて稀に見る盛況を極めたり

飛行機に托送せる
本社宛東京支局よりの通信來る
田中中尉のポケットより親しく本社記者の手へ

本社東京支局が今次の陸軍大飛行出發に際し所澤飛行場に於て飛行將校田中中尉に託したる本社宛て通信原稿は十一日田中中尉搭乘のソ式第二號が無事汝矣島に著陸すると同時に田中中尉のポケットより取出され同中尉の手より親しく本社記者の手に渡されたり通信全文左の如し

成功を禱る　齋藤總督談

所澤京城間の大飛行は我國防史上未曾有の壯擧なり我社は此機會に於て鵬翼に託して齋藤總督の感想を紹介するの光榮を得たるを悅ぶ

今回陸軍航空部に於て所澤京城間の大飛行を企てられた事を聽くのは寔に邦家の爲め慶賀に堪へぬ事で其成功を禱つて已まない次第である、申す迄も無く航空機は平時に於ては最新の利器として交通運輸の事に從ひ文明の進步に貢獻し戰時に於ては最も斬新なる武器として將來益々其威力を發揮する事であらう又今日朝鮮と內地間の聯絡交通が頻繁に成るとは朝鮮の文化を進める上に最も有効な事であつて特に今回の此新銳の利器が翼を揃へて海峽を橫斷し朝鮮に至る事は朝鮮の人心に良き刺戟を與へる事と思ふ、何となれば今や世界の文化は駸々として進步し一日安閑として過ごせば一日丈け世界の文運の落伍者となるのであるから此際國民は專念學を修め業を勵み力を竭して以て世界の文明に貢獻する心懸で無ければ成らぬ、殊に朝鮮の同胞は朝鮮文化の現狀に省み一意專念民力民智の涵養發達を計るの他何事をも省る遑の無い時代ではあるまいか今幸ひに此壯擧を目の當りに見文明の利器の威力を識り在鮮の國民が倍々自奮自勵の途に進む所以を自得する機會を得たならば結構であると思つて居る（文責在記者・在東京支局）

爆音朗らかに機影見ゆ
小關中尉を先登に和田、田中兩中尉相次で飛來す
京城市の上空で大きく旋回　觀衆狂喜して空界の勇士を迎ふ

飛行機飛來の報頻りに到ること前後四日間、三日目は空しく待ち詫て四日目の日は來た。今日こそは必ず京城へ飛來するであらう。必ず飛來せねばならない日だ、霜氣凛たりし此日も朝來の快晴拭うが如く風穩かにして絕好の飛行日和である。漢江鐵道橋の南に接した汝矣島の著陸場は早朝既に準備成つて大邱からの飛報を待つ。見よ著陸場たる漢江河床一帶からは陽炎ゆら〳〵と燃え出つて東南に連らなる南漢、冠嶽兩山の嶺も靄に、浮雲動かず早春の氣充ち滿るを。

午前九時三十六分一機を先頭として三機交々大邱を發すとの飛報に接しよ著陸場內の空氣は俄かに緊張し、人皆南の空冠嶽山のあたりへ瞳を凝らす。三十分は過ぎ四十分は過ぎたが未だ機影は見えない。一時間を過ぎ一時間卅分に垂んとする頃人々の顏には多少不安の色が漲た。が然し大田からの飛電は先機大田通過を報じて來たので場內の空氣に緊張し、時を逐ふて天安、西井里通過の報は傳へられた

出發後既に

二時間を經過し待つ者皆不安に襲はれて居た頃であつた。何處よりか微かなるプロペラーの音は傳はつて來た。瞳を凝らせば早春の陽光に雪白の肌輝く冠嶽山の絕巓か、白雲浮かぶ邊に一點の機影は現はれた。觀衆狂喜して

爆音朗かに

機影を凝視する中機影は漸次擴大し來り著陸場の上空に差蒐るや下降著陸と思ひの外機は悠々と著陸場を通過し二千米突の高度を保ち乍ら京城の上空に飛去り千五百米突に下降して市街の上を數回旋回し大邱府から

京城府民に宛てた

所澤京城間大飛行に託し遙に京城府民諸君の幸福を祈ると印刷した葉書二倍大の空中記念通信のビラを機上から撒布し市民の熱叫拍手を後にして再び著陸場に引返して場を二周し漸次下降せんとする折柄更に他の一機は冠嶽山の南方に現はれしたので觀衆は更に狂呼喝采した先機は既に

漸次下降を

續け機翼は旭日の銀光を射返しつゝ場の東方隅から見事なる滑走を以て著陸した。時に十一時五十一分之ぞ所澤出發に際して殿を承はり大阪著の豫定を打破つて一氣廣島に飛び、更に朝鮮海峽を橫斷して勇敢大邱に著陸した勇猛小關中尉操縱のソッピース式一一號であつた。

小關中尉が

觀衆の歡呼を浴び準備員其他の人々に擁せられ乍ら飛行將校天幕に入る、時第二機は南山の邊嶺を掠めて大…城の上空を旋回し機首を回らして著陸場の上空に來り

空色の機翼を

輝かせ乍ら漸次下降し巧な滑走を以て著陸した。時に十二時八分、操縱者は日本飛行家として最初の宙返り飛行を敢行した快男子和田中尉、機はソ式二號であつた

不時著陸した

二機は既に著いた殘るは朝鮮海峽を最初に橫斷し洛東江の三角洲に不時著陸した田中中尉操縱のサルムソン式五三六號のみである。和田中尉が著陸したと殆ど同時に最後の一機は同じく冠嶽山の上空に機影を現はし、爆音勇ましく著陸場東方の上空を過ぎ京城市を訪れ數回

旋回を續け乍ら

こ印刷したビラを上空から撒いて著陸場に引返しカーキー色の機體は著陸場の上空を二三回旋回して十二時二十二分無事に著陸した。そして觀衆は

三度熱狂の叫びを擧げ

嵐のやうな拍手は起つた。あゝ鵬程八百哩、我が航空史上を飾る壯擧たる所澤京城間の陸軍大飛行は[illegible]

所澤京城間陸軍大飛行大邱―京城間（三月十二日）

操縱將校	飛行機	大邱出發	京城著	飛行時間
小關中尉	ソ式十一號	午前九時卅六分	午前十一時五十一分	二時十五分
和田中尉	ソ式二號	午前九時卅七分	午後零時十分	二時卅三分
田中中尉	サ式五三六號	午前九時卅八分	午後零時廿二分	二時四十四分

著陸せる和田中尉（機上より下りんとする刹那）

空中より記念ビラ
三機相ついで到著す

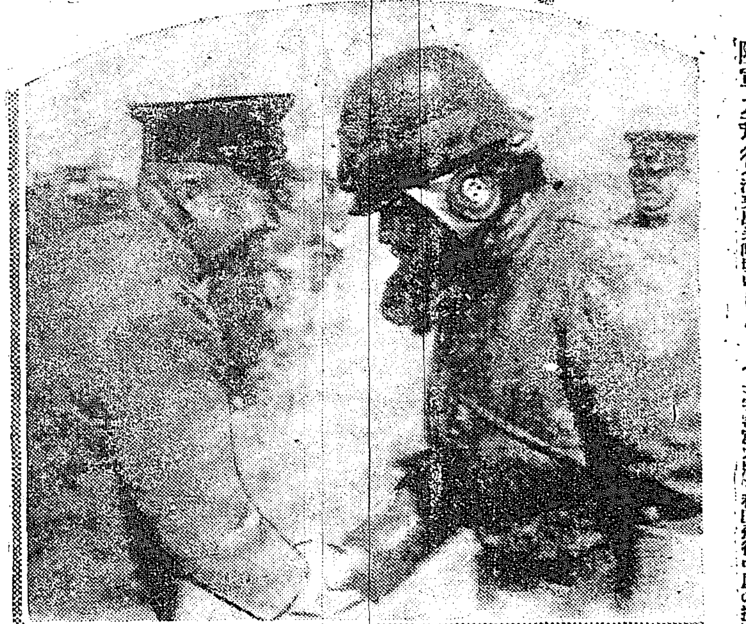
所澤航空隊
所澤京城間大飛行參加將校一同
我等は今回の大飛行に深甚なる同情を寄せられたる京城市民諸君に對し『京城日報』及『每日申報』を通じて敬意を表す
大正九年三月十二日

記念品贈呈

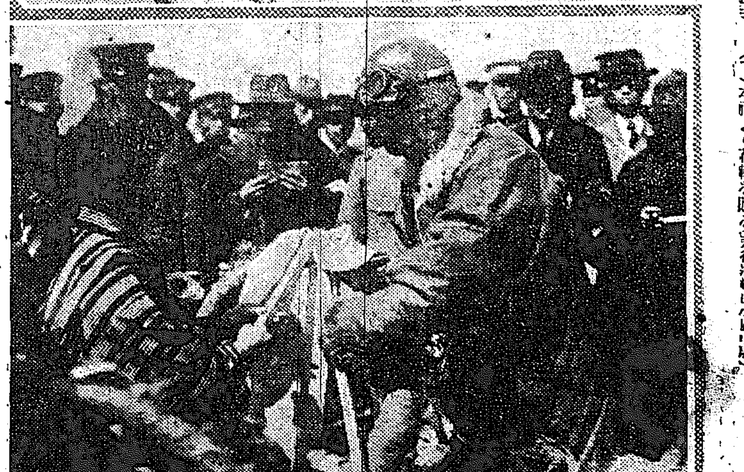
愛國婦人會朝鮮本部は所澤京城間大飛行の壯擧に際し歡迎の誠意を表する爲飛行將校八名に對し記念品を贈呈すべく軍司令部へ取次ぎ方を依賴せし由

汝矣島に格納庫

著陸せる飛行機は汝矣島に野外格納庫を急造し復航の際まで格納し置く筈



陸軍大飛行（汝矣島著陸場にて）（上）宇都宮大將と和田飛行中尉の握手



（下）本社より花輪を贈る（飛行將校は小關中尉）

密雲を衝いて京城入
向ひ風に煽られて惡氣流と戰ひつゝ
平均高度二千米突を飛翔す
和田飛行中尉の談

所澤出發以來最も困難したのは岡山廣島間雨中を突破した時だけで海峽橫斷は羅針盤を賴りに極めて樂に飛べました。大邱から京城までの間では秋風嶺附近は雲が濃く終始雲の中をもぐり長い時は三十分程入つてゐました。小關中尉は上へ上へと逃げ私は下へ下へと逃げましたが大田までは風に乘つて順調でしたが大田以北よりは向ひ風となり大分煽られた爲め二時十分間で著すべきが約二十五分遲れ二時三十五分を費した次第です朝鮮は內地に比して氣流は惡くはないが水原の南方は可なりの惡氣流でした高度は平均約二千米突です

と少しも疲れを見せず松井大邱府尹より託送されたる總督總監宛の書面を安武文書課長に、又井上少將より託送の手紙を兒島憲兵司令官に手渡したる後歡迎の電報を受取たるが中に水田中尉より『成功萬歲武門の譽れ羨まし』とありたるに思はず破顏一笑し折から來れる原田軍副官に對し北島定夫大尉より託送の名刺を手渡したり、刺には『飛行の勇將和田君に託して敬意を表す大いに歡迎して呉給へ』とあるに原田副官『仰せにや及ぶべき大に歡迎の誠意を披瀝するよ』と堅く握手を交へたり

秋風嶺は箱根以上に困難した
白雲を突破し來りて
京城市上に記念ビラを撒く
小關飛行中尉の談

休憩室に入つた小關中尉に刺を通ずると氏は第二機が將に京城上空を飛んでゐる有樣をヂッと眺めながら元氣よく『有難う！此の成功は全く天佑です飛行は殆ど豫定通りです。大邱から秋風嶺附近までは千五百米の高度で飛びましたが

秋風嶺は密雲

深く鎖してゐるので下界を…

海峽橫斷に先鞭を着けた
田中飛行中尉は語る

關釜海峽橫斷に第一著の先鞭を著けたるも不幸金海に不時著陸の厄を見た田中中尉は黑革の飛行上著に同樣の革帶、カーキ色の乘袴と同色の飛行帽を冠り飛行眼鏡をかけた英氣颯爽たる姿は流石にも空界の先驅者に相應しい　六二號を操縱し午後零時二十二分第三次に此日の殿軍として著陸した宇都宮司令官に…

伊國領事の祝詞
本社亦た花輪を贈りて其の成功を祝す
三飛行中尉へ京城府より記念銀盃贈呈

汝矣島に著陸せる小關、和田、田中三中尉は少憩後打揃つて貴賓席に到り宇都宮司令官より三中尉の成功に對する慰勞の辭を受け兒島中將、大野少將、李…其他と握手を交はし、伊太利領事チサオロ氏より左の祝詞を受けた

諸君の同僚たる伊太利飛行機が近く到著せんとする場合に於て日本の飛行機が此の飛行の壯擧を決行して本日無事著陸されたことを衷心から御欣び申上げます日伊兩國は非常に離れては居るが此の航空の手段によつて益々親密の度を加へらるゝことゝ信じます何卒私の欣びの挨拶を御受け下さい

と述べて服部事務官より京城府を代表して記念銀盃の贈呈あり、次いで本社を代表して村上忠助氏は社長代理として三勇士に對し祝辭を陳べ本社寄贈の花環贈呈があり、次ぎに朝鮮新聞社長牧山耕藏氏令嬢…子（二）の花環贈呈があり、三勇士亦深く感激したる面持を以て只默々として擧手の禮を施して居た。

秋風嶺の手前

なり鐵道線路を發見しましたが秋風嶺は箱根以上に困難しましたが線路を見てホッとしました田中君のサ式が引返したようでしたが三機共に全く聯絡が無かつたので白雲に迷ひ込んだら衝突でもしまいかと心配しましたが先づ無事京城に著きました幾分高空を飛んだので冷たく思ひました氣流も風も大した事は有ませんでした京城の上空は約千八百米突の高度で數回周りました

京城市中は人

の出が非常に澤山でみんな空を仰いでゐる樣子が手に取る樣でした大邱府から頼まれた空中記念通信のビラを撒きました……何しろ二時間の飛行ですもの疲れてゐませんよ』と胸間の功五級の金鵄章が美しく輝いてゐたが軍司令官の挨拶があると云ふので又飛行服を著たが

全く元氣旺盛

で十日に京城を見舞へなかつたのが殘念です十日には是非とも飛ぶ決心でしたが益田中佐がとめたので遂に飛べなかつたと語つてゐるたやがて和田中尉が來て『ヤアー』と御互ひの健康を祝しつゝ秋風嶺の密雲を語り合つるた

飛行往航は美事成功した。機上から降り立つた三勇士の凜々しい姿を見よ、その欣びを想へ！

て千米に低めたが白雲の中に入つてしまつたので更に千六百米まで上昇し漠々たる白雲を突破し雲の上を飛びながら全く磁石一點張で方向を西北に飛び抜け新基附近で漸く浮雲も無く

大邱を離陸

したのは三機各一分位の間隔でしたが大邱府民の懇望に依り特に大邱の上空で數回の旋回を行つて居りましたのでサ式の速力が勝つて居るに拘らず意外にソ式に少し遲れた譯です。航路は鐵道線路を幾分左に取つて大田に出で秋風嶺は高度約二千六百米突で突破しましたが

秋風嶺には

密雲深く鎖して眼界を遮りました。それ以後は高度を少し降して格別の異狀もなく飛來しましたが水原附近では多少の動搖を感じ風當も可成でしたが熱烈なる官民諸氏の御同情に依り無事目的地に到達するを得ましたのは深く感謝に堪へぬ次第であります

軍隊の趣旨

には一致して逐同飛行なども行ひますのは國民の同情に報いる徹底さしては止むを得ません。今回の飛行は朝鮮の地形が內地と異なつて居る上に百萬分一の地圖より無かつたので比較的航路が執り難く多少の苦心は要しました』云々

三勇士
自動車を驅りて倭城臺へ

京城所澤間の大飛行往航を終つた小關和田田中の三飛行中尉は一同重荷を下したような顏付で飛行準備委員長其他と飛行服の儘二臺の自動車に分乘し新設の著陸場の砂を蹴つて爆音勇ましく京城に向つた此空界の三勇士は龍山に出て漢江通りを一直線に南大門通りから倭城臺の水野政務總監邸に至り…

午餐會と晩餐會

十三日午後零時より水野政務總監は官邸に於て飛行將校及び係者一同を招待し盛大なる午餐會を催さる由猶宇都宮軍司令官は同日午後六時半より同官邸にて晩餐會を催し一同を慰勞する筈なりと

三飛行中尉の市內巡覽

飛行將校一同は…の案內にて十三日自動車に分乘し昌慶苑、商品陳列館其他市內を巡覽の筈なり

昨日

氣溫　十二日正午　攝氏九、六　華氏四九、二
前日最高　攝氏二、六　華氏三六、七
（自十二日午後六時至十三日午後六時）
…節風卓越し…なりつゝあれど…電報未著の爲め…

今後騷擾はせぬと誓書を提出して市の開場を嘆願す

不逞漢に困り果た兼浦の鮮人

三月一日前後を期し再び騷擾を起さんとせし不逞鮮人等も官憲の警戒に不穩裡に經過したるが殊に兼二浦附近では二十九日以來周到なる手配りに何事もなく過ぎたが警察署では商舍の爲當分定例市の開場を禁じた、然るに一般鮮人等は其結果總ての商取引は中止狀態となるのみか近郷近在よりの人出皆無の爲自然穀類の供給は市内十餘名の穀物商に仰ぐの餘儀無きに至りたれば鮮人穀物商等は奇貨措くべしと許りに穀價を釣上げ暴利を貪らんとするより下級勞働者本位の市民は市場停止の苦痛を痛切に感じ茲にたてか彼等不逞の徒に對する憎惡反感の念を惹起したので今日に於ては寧ろ官憲の警戒を歡迎するのみならず今後兼二浦の地に於て不逞輩の煽動を敵さない事を得つて市場解停方を警察署長及び面長に嘆願に及んだので彌て彼れ等の窮狀を稍考慮しつゝありし吉田署長は去る八日市内有力鮮人七八名の誓書を徴して次回（十日）よりの開市を許容したので市民一同漸く愁眉を開いたのは何よりも結構である（兼二浦）

羅南面長問題

羅南面長福島律次氏の就職以來兎角面事務の澁滯勝ちなるより昨今其非を唱ふるの聲漸く高くなり遂に排斥運動を試みんとする者續出し形勢稍不穩の兆ありと放言するものあるも幷は或一部の者が何かの感情問題に導かれたる結果なるべしとなすものもありて其間の調和を圖り現面長をして今暫く其職にあらしめんと力めつゝあるも面長自身の職責固く後任者を物色しつゝあるも物價騰貴の今の世に給料だけでは交際費にも足らぬとくだらぬ名譽職など誰も相手にするものなきため現面長の進退兩難となり一寸立往生の體なるが第一世面長吉田長治氏を再び推選せんとする一派も現はれたりとの噂あるも恐らく氏は就任せざるべしと觀測するもの多きが如し（羅南）

清涼飲料會社

源泉は忠北清州の奥元咸鏡北道清州警察署長として目下は忠清興業會社專務取締役安剛金藏氏は清州の東數里の箇所に湧出せるが極めて豊富にして而も泉質尤も優良なる炭酸泉のあるを發見し是れを以て清涼飲料製造會社を創立すべく目論見各方面に就き贊同を求め既に朝鮮方面は日鮮人有志多數の贊成を得

平南安州の大水利

資本二千萬圓で二萬五千町歩に灌漑

＝目下地主組合で調査＝平安南道安州郡下地主組合に於ては昨夏旱魃に鑑み水利灌漑の必要なるを痛切に感じたるより同郡新安州藤井千城氏其他地主間に水利事業の計畫を發起し藤井氏創立委員長として目下設計其他に着手中なるが本事業に受くる處の灌漑耕地は實に二萬五千町歩に達し其面積よりせば東洋第一の大水利工事にしてこの總經費二千萬圓なるが右費用は勿論總督府及道より幾分の補助を受くるも其の大部分は地主組合に於て起債を爲し之が費用に充つる由にして本事業著手の第一歩として右關係地主二十五名は藤井勸業課長及木村水利土木技手引卒の下に十一日より全羅北道水利組合及一般農事狀況視察の爲め同地方に出發すべくその日程十一日間なりと

火酒會社計畫

羅南面長福島律次氏外數名發起の下に東亞火酒株式會社設立の計ありて目下其の株式募集中なるが資本金二十五萬圓にして五千株三千株を公募に附し二千株は發起人側に於て引受第一回拂込總額の四分一即ち六萬二千五百圓を以て事業に着手し三十五度燒酎一箇年九百石を製產し九萬圓收入年二割五分の配當を唱へつゝあるが其の販路は主として間島琿春方面にありて多數の鮮人顧客を控居ることゝて原料の豊富並に支那製品に比し安價なるの特點を有することゝて頗る有望なりとの評高く好人氣を以て迎へられつゝあり（羅南）

大連家賃公定

委員間にて審議中

見らるべき家賃の公定標準の件に就いては流石に議論百出容易に決せざるもの、如何なるも[illegible]て上申の手續きに及ぶべしと云ふ（大連）

全州に贋造紙幣

一日に五六枚も發見さる

全州市中にては近時五十錢贋造紙幣を使用する者ありて一日に五六枚宛も發見する有樣にて全州署にては目下夫々犯人搜查中なるが未だ發見するに至らずと云へるが一般に注意すべし因に贋造紙幣は色稍薄く紙質又惡く番號は一〇五、二二〇、二二七等なりと（全州）

全州學藝會

全州尋常小學校にては十日午前十時より生徒の學藝會を開催し餘興として忠臣正行川中島等の史劇を演じ午後盛會裡に散會せり（全州）

自轉車檢查

全州警察署にては九日署員を市内各要所に張込ませ一齊に通行の自轉車に對し無鑑札又は鈴なく且つ踏み切自轉車等に付き充分檢查を爲したりと（全州）

瀧口もどきに千束の戀文

學生から藝者へ

思ふ女からの手紙！如何に胸躍る事よ一日千秋の思ひして待焦れた手紙だとは嬉しさにペン走らせた男の返事まこと僞らざる告白である、女の手紙には戀愛意味が認められてゐた、それは度々の情けに厚い御手紙何んで無碍に捨てられよう度び重なる情けのお言葉は妾に取つて如何程か心强いでせう一度お目に懸つて御禮も述べたい末永い契りも結びたい就ては來る三月十日公園でお目にかゝりませう云々

嬉しさは飛び立つ程だがそこに男に取つて一つの障害のある事に氣附いた、それは五日から始まつた學期試驗が十三日間と云ふので十日はまだ試驗中である男の悶へは慘しかつた、哀れな學生は思よした思ひをして其の女の手紙に眞を覗いだが小稻の返した戀文と云ふものも本人の夢にも知らぬ事

千束の戀文を

通はする學生に對して或る物好きの惡戲が爲した業、それとも知らぬ夢中の人は左の樣な文句を認めた

一日千秋の思ひして待ち焦れた君のお手紙が本夕僕の手に入つた事は實に嬉しかつた……ふさした事から君の事を思ひ日を重ぬるさ共に深く僕の心を動搖させるのですさの來る三月十日に公園で面會するさの事、僕は飛び立つ思ひしたのですが此處に其の思ひを遮ぎつたのは來る五日より十三日間學期試驗があるのですその爲め試驗の濟み次第に是非御面會したいと思ひます君の御都合の好い時を早く知らせてください僕も學生の事故宜しく　原文のまゝ

それには姉上樣としてある、此意外の手紙を何心なく披らいた小稻の驚きと迷ひとは並大抵でなかつたのは云ふ迄もない、果して誰の惡戲であらうかまだ初心らしい若い小稻に學生の戀は迷惑の程も察しられる、記者は茲に暫らく其學生の前途の爲に姓名を公表する事を避け學校の名譽の爲めこその校名を擧げない只事に教育の任にある關係者と一般家庭の注意を喚起する上に於て墮落せる學生の事實を暴け出すに留めて置く（仁川）

產科 婦人科　京城壽町電話二一〇一　醫學士 二宮亮吉　二宮醫院

朝鮮の蘆原將軍？

一箇月間の保護に悉皆悄氣る

去る二月二日の事仁川驛に下車した一人の鮮人偉丈夫眉宇[illegible]を張り氣骨稜々の趣きあれど其の動作言語に頗る曖昧の點ありテッキリ氣印と見當を附けて一先づ

仁川署に連行すると此の男氣印處の騷ぎでなく頗る念入りの氣狂ひで天晴朝鮮の蘆原將軍に成り濟しての大言壯語のみか時に亂暴狼籍を演ずるので此のまゝに捨て置けず仁川署では留置場に入れて保護を加へ一方其の原籍の身內に對して照會中であつた將軍の間違ひ振りは頗る念入りで天下の志士を氣取り朝鮮總督は吾が友の如く吹聽する逆に事務執る警察官を捕へては

總督を呼べと命令する昨夜總督に向つて一處に酒宴に飲ようと云つたが遂に來なかつた不都合な奴じやと怪態具合で只徒らに誇大の妄想があるかと思へば忽ち變じて總督を仇敵の如く云ひ做して附近に居る者悉くに罵言を弄し唾を浴びせる始末、留置場に入れて置くと今度は朝と云はず夜と云はず天下に豪語すかの如き氣味惡い

叫ぶ聲は絕えず荒格子を洩れて來るのである此の男は江原道橫城郡井谷面の者で姜永哲と云ひ四十二歲の男家庭でに殷近天道敎の信者となつて間もなく何時の間にか氣が變になつたと思ふ直に無斷家出して行先不明になつたので此方から心配して心當りを搜查中であつたが仁川署より本籍への照會で遙々仁川に漂浪した事が判り實兄姜永璇が去る三月九日迎へに來た

保護に一ケ月の姜永哲は殆ご道に先の元氣も失せ顏面稍衰へ兄に伴なはれて悄然、事に永の厄介を謝して歸路に就いたが家又貧困にして旅費の捻出も薄く而も交通の便ある江原の果てに徒歩を辿りて歸る兄弟の姿は誠に哀れに見られた

伊達騷動

小金井芦洲講演

第百七十一席

二度目の對決

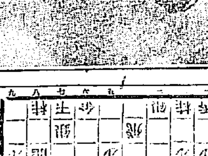
可信侯も今更乍ら驚かれて『可甚五兵衞以來は汪瀾に茶も飲まん』『如何にも召上がり物が第一の御用心』『是れと申すも一に安藝こに汝の忠節に依つて予は命を拾うた、忘れは置かぬ』こ淚と共に禮を仰せられた、甚五兵衞は杉浦の死骸を密と取片付け御暇りを告げて立歸り、右の趣きを安藝に物語つた、伊達安藝は飛上がつて驚き『ヤイ恐ろしき奴等、評定所へ御呼出しの間にも、斯くの如き惡謀を回らすとは、實に憎い奴……』こ御殿へ昇つて右の次第を綱村侯に上申を致し、以來は御膳部可信侯の御食事は、三度々々能田が馬で品川の下屋敷へ運ぶこ云ふ事に成つて、注意をする樣になりました、此方は原田甲斐が密に此事を聞いて殘念に思ひ甲『一足違ひで事露顯に及ぶこは天命……彼程時間を間違へるなこ云つたのに愚かな奴は仕方がないけれ共死んで了つて呉れたので、マー／＼何か始末が宜いが』こ胸を撫で下した、偖て此方は大老酒井雅樂頭忠清は十日の評定を終つて御歸邸に相成り、種々お考へなされたが、書面を以て伊達兵部少輔を翌十一日御招きに相成つて、最こ秘かに面會され『酒』サア至急お招ぎ申したは別儀でないが、御聞及びもあらうが、昨日の對決證人を呼出すと云ふ時は刻限切れこ云ふ事で、評定を閉ぢましたが、手前も永らく勤役中初めて〃あつた、實に甲斐こ申す者は辯才に勝れて偉ひ奴ぢや、安藝は一々箇條毎に證據證人を論ずる、先づ之は左のみ骨も折れず通常の人にも出來やうが、甲斐は總てが受太刀ぢや、劍術で申さば切込む方と受ける方とは受太刀は七分の損がある、依つて之を引ッ繰返すには甲斐が安藝を受太刀にすれば、必ず勝利となる、智力辯才に勝れたる方より斬込まれた時は正直一方の安藝は搖く、其隙を掩くし立て、攻立てれば安藝は必ず論辯故絕句致す、其際向こから引ッ繰返す工風があらう、さうすれば安藝が敗訴となる』依つて御歸りになつて、甲斐を御招きなされて御相談相成つて御覽なさい』『兵』『御說御道理、誠に有難う存じます、早速歸邸仕り申聞けるで御座ります』こ直に暇乞を告げて廣尾へ歸ると即刻甲斐を呼寄せた、甲斐は急の迎ひに馬で乘付けて參りました『臣』原田甲斐樣が見へました『兵』オ、待兼ね居つた……甲斐か早々此處へ……至急呼びに遣はしたは余の儀でないが、自分も只今立戾つたばかりぢやが、實は御大老から御招きになつて、昨日の評定所の樣子も具に承はつたが、それに就て御大老の仰せらるゝには、斯樣ぢや』と雅樂頭から懇談の有つた次第の話をすると、甲斐は莞爾と笑つて『甲』折角御大老が左迄仰せ下さるならば、私が先手になつて見ませう然し勝利を得るご思召給ふなこ大膽不敵の原田甲斐然こして立ち歸つた、愈々次ぎの御調べが來る、十七日の呼出しご相成る、待に待つたる證人出廷これ上役人も皆一同心待ちで御出席以前の如く、席が定まり原被双方呼出される、板倉侯は『內』去る十日證人呼出すこ云ふ折、時間切れこ相成り據なく其儘に閉ぢたが今日は願人過日甲斐に尋ねたる事を一應尋ねて見い、甲斐答へ致せ』双方御禮をなし、伊達安藝襟を正し、既に言葉を發せんとせし時原田甲斐申『アイヤ安藝殿、今日は御邊の御尋ねに先立ちて此方より御尋ね申度い事が御座る、不屆き者爲人のこ兎角揣者の事仰せられますが、先づ人の非を正さんとする時は先づ己を正しうするに如かずこ申す古語も御座るが、此度の一件に就きて疑ふべき箇條三ケ條あり、第一に御當家が願出でたる數ケ條、御手前御存じで一家中一人も知らん道理も有るまい、一同存じであらば家中連印にて願出づべきが至當で御座る』

◎巡查派出所新設　京釜線大安は其發展著しく殊に本町通りは人馬車の交通頻繁なるより當署にては取締上本町通りに巡查派出所を新設すべしと（天安）

◎德島縣人會發會式　仁川及び其の近在の德島縣出身者は先般來縣人會を組織し會員七十餘名を有するより十三日午後正七時より仁川宮町高野山別院遍照寺に於て發會式を擧ぐる由同縣出身者は奮つて出席せらるべしと

詰將棋

新題（二）　七段　先六段



二手目[illegible]▼　△三四馬▲二二銀△三九玉▲三三銀△一六馬▲一四歩△五六歩▲一五歩△二七馬▲四五歩△三六歩▲二四歩△七馬▲三四銀△五五歩▲六四金△五九香▲六三龍△五四歩（ト）▲同歩△二二歩▲三三桂△二一歩ナル▲四六歩（以下次號）

合評　△（ト）五四歩突き惡手なり敵の龍に活動される虞あれば直ちに二二歩こ打ち以下の手順に指す方有利なり

三月十四日

（舊）正月廿四日　日曜日　▲かのさ未　▲五黄　▲赤口　▲昴　▲定

▼五黄▲世話の燒ける事ある日▼六白▲願の叶ふ日なれども、やゝもするこ仲傷の入る日なり▼七赤▲錢又は其他の事にて德の行く日なれご酒食注意の事▼八白▲憂心さへせざれば或は意外の事にて吉慶に遭ふや不知▼九紫▲蹈き勝の日なるや知れねご腰を强くせば成功すべし▼一白▲一文惜みは百損に終る▼二黑▲運を取り逃がさぬやうに充分氣を配らば成功すべき日▼三碧▲物ごこのハッキみする日にて正しき望みは必ず叶はん▼四綠▲早起きを爲さば必ず何か有利のこころあるべき日なり

大阪便り

得意先に對して辛ふじて其用を缺かさぬの程度に於て送品せる一時的の需要家に對しては謝絕し居れるは勢ひ右[illegible]に付二百圓三百圓と稱するも尚且飛ぶが如く賣行くは原料石炭と常に運命を共にせるコークスは其原炭として使用せらるゝに[illegible]採掘捗々しからざるは茲に[illegible]の缺乏を訴ふるところとなれば最近一噸に付五十圓方の騰貴を致せる爲現在相場は前途益々高見[illegible]

印度砂糖稅　八日發[illegible]

興業信託創立　[illegible]

棉花在荷增加　[illegible]末までの輸入綿花累計は四十五萬九千百十四俵の多きを示し前年同期に比すれば二萬四千六百二十[illegible]八萬八百五十五俵にて之を[illegible]

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店　櫻井町　大正館　電話八七三　當る三月十二日より特別大映畫提供　▽滑稽劇『奇遇』長尺　▽泰西活劇『正直の人』　▼伊太利政府公認實況　古典的映畫　▼佛國陸軍總司令部寫眞班冒險撮影　▼於伊墺兩國間大激戰　ゴリッアの激戰　全六千呎　鬼神泣くゴリッアに於ける伊墺軍の激戰！特悍なる伊軍が猛烈なる反復しつゝ遂に堅壘を拔ける其慘烈は我日露の旅順戰に比肩すると稱せらる　日活會社本年新撮影　古今無雙の大劍客『一刀齋と典膳』全六卷　伊東彌五郎一刀齋の生立ちより共に師子典膳が古狸退治より身の仇討ちたる壯快なる松之助劇　◎入場料特に割引　◎毎月一日、十五日、日曜、祭日晝夜開演

本町一丁目　有樂館改　喜樂館　電話九七番　當る三月十二日より特別大寫眞公開　▲實寫『埃及の遺跡』　▲喜劇『硬業所』　▲熱狂的大評判の大活劇　▲冒險連續　運命の指環　第十一編絕命　事件は愈々白熱點に達し猛烈なる大活劇に展開されたる急行列車上の大格鬪　スペイン組の人々の活動振り見られよ　△大阪朝日新聞連載小說　桃花の花櫻　旭の花か　松之助の小說　白小僧に扮し　△大活劇　日の丸　前後編十卷上場　名將開白秀吉こは後のこ小伜一時鬼大將の旗下に走りて拔擢大傑出世[illegible]

本町四丁目　電話七八五　壽館　天下一品　出雲名物　安來節家元渡部お糸一行　當る十五日午後六時開演

壽町　電話一六〇番　浪花館　[illegible]（桃中軒）如光三人會　『武勇傳』（東家楓）『名馬[illegible]』（岡本鶴[illegible]）村上[illegible]

黃金町　黃金館　電話一二三七　當る三月十三日より特別大興行　[illegible]四郎五郎十郎一派　▲新劇　女猿飛　全四卷　▲連續　伯林の猿　第九十篇四卷上場　アリス孃は四百呎の高所より獨探を捕ふべく[illegible]に乘移り全速力で大冒險　身邊に危險が迫つて來た？　▲新派悲劇　哀の曲　全六卷

ちんそう炎

ジンソウ炎　賢臟炎に特効の良藥あり同病の方は端書にて申込あれば說明書無代進呈▲
播磨明石鍛冶屋町　天龍堂

蓄音器と樂器
▼ピアノオルガン

カタログ無代進呈
▲山口樂器店　京城本町二丁目　振替口座五二二五

悲觀なさるな たしかに治る

生れ付き色の黑いや赤いのも　ニキビやソバカスふき出でも　不思議に治つて色白くなる!!

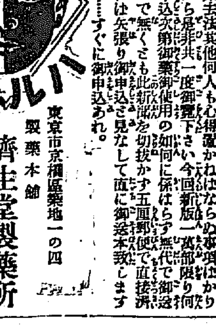
目鼻立ち顏形は人並以上整つて居りながら生れ付き色の黑い爲めに無慘や世の人からつまはぢきされ……やれ印度人よ色黑よと輕蔑れるのが殘念でたまらない、ア、何うかして色白く美しくなりたい……なほ私のような色黑も全く生れ變つたように……なるでしょうか……さ御心配の方も澤山御座いましょう、又其他にも只色の黑いはかりでなくニキビやソバカス吹出物等で醜き悲んで居る方も御座いましょう、而し決して悲觀遊はすな。

今回ザウ云ふ方々が眞に生れ變つた樣に色白く美しくなる新しい方法が發明發表されました……元來ニキビソバカス吹出物色の黑いや赤いのは決して表皮斗りの疾患でなく食物の關係で胃腸内に發生する毒瓦斯や體內の惡血毒素が外面へ吹出すものであるから從來のような塗藥や化粧液では決して治る筈がない、何うしても特別な內服藥で體內から治さなければ再び發生せぬ樣に完全に治す事は出來ぬ現に歐米諸外國では皆此內服藥を使用してドシ／＼治して居りますが而し肉食人種の用ゆる外國の內服藥は米食の我々東洋人種には絕對に効めの無いはかりか却つて髮の毛を赤くしたりニキビが增殖したり種々の危險がありますので、我醫藥學界に有名な藥學博士島田耕一先生、越澤先生其他の五大博士大家は我々東洋人種の爲めに共に苦心の末、合議研究して遂に內服して色を白く美しくしニキビソバカスを治すハルナーと云ふ靈藥を發明したのであります

簡單なハルナーの効力に就いては左記の代理店を初め全國有名な大藥店で皆其効力を信用して進んで取次販賣して居りまするし說明した五大先生も一度治したら決して再發せぬ樣にと云ふ大理想の下に研究したのでありますから物は試し是非一度御試み下さい、萬一近所の藥店に品切れの時はツマラヌ模造類似藥等御買求めなされず直接製藥元まで金五十錢だけ印紙か切手を手紙で御送り下されば左記の書籍を添へて早速御送藥致します。

白色美身法無代進呈

又我五大先生は共に研究して白色美身法と云ふ書籍を記述されました此本には色の黑い理由と色を白くする法、ニキビの原因と治療法、ソバカスの除去法其他何人も心得置かねはならぬ事項ばかり記載してありますから是非共一度御覽下さい今回新版一萬部限り何人にもハガキで御申込次第御藥御使用の如何に係はらず無代で御送呈致します又ハガキで無くとも此新聞を切拔かず五厘郵便で直接濟生堂宛御送りになれは矢張り御申込と見なして直に御送本致しますサア遠慮は御無用……すぐに御申込あれ。



東京市京橋區築地一ノ四　製藥本舖　濟生堂製藥所　振替東京一一七〇一　電話京橋一〇二七番

代理店及販賣店
京城 新井藥房　同 山岸村佑三太郎　同 木島眞支店　同 北島本店　仁川 森田藥房　平壤 石田濟世堂　元山 池田藥房　同 新妻仁壽堂
清津 [illegible]　鎭南浦 巴林商會　群山 神下藥房　木浦 菅木田久藥房　大邱 鈴[illegible]　馬山 町[illegible]　釜山 大石黑[illegible]
△其他全國到る處の藥店にて販賣す

第一回株金拂込公告

一拂込金額　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢
一拂込期日　大正九年參月拾五日限
但拂込遲延ノ場合ハ百圓ニ付金五錢ノ延滯日步ヲ申受ク
一拂込場所　京城府南大門通貳丁目拾九番地當行本店

大正九年三月十一日

株式會社　朝鮮商業銀行

祝陸軍大飛行成功
淺野セメント株式會社　京城出張所　京城黃金町長電話六六二番
淺野スレート株式會社　京城出張所

祝陸軍大飛行成功
京城鐘路一丁目　東洋生命保險株式會社　電話長五一一番

祝陸軍大飛行成功
京城電氣株式會社

祝陸軍大飛行成功
三井物產株式會社　京城支店

一七十五回（空前の割增付）組合せ賣▼
一萬貳千圓　當同番四通六十五圓
九千圓　當同番三通三十七圓
六千圓　當同番二通二十二圓
東京市神田區須田町二十五番地　振替東京二三四〇番　電話神田二九二一番
勸業債券　月報社須田町支店

特產物と金融

昨冬來の金融の逼迫

讃井鮮銀支店支配人談

▲昨冬來の金融の逼迫は依然として緩和の色なく支那人側に銀藏を有する市內三三行は舊正月の經過と共に一度預金を引出して歸國したるもの復資本を携へて歸連する關係より一時に比し幾分預金の增加を見たるもの、如きも斯の如きは九牛中の一毛にして一般市界を潤すに足らず然るに株式商品取引所仲買人の身元保證金の納入の如き只さへ逼迫の場合一層緊縮せしめたる傾きあるなど例年ならば商資の潤澤を傳ふべき時に於て此變現象を見るに至りたるは昨年來會社熱の勃興に伴れて土地家屋の思惑となり投機熱を煽りたるに因由するは勿論ならんが尙ほ

尙最近の事例

として其の茲に至らしめたる原因は特產物の資金回收難にあるもの、如く一時好況ならんとしたる豆油の輸出も中止の姿となり大豆の沿線各驛に野積の儲貯積せらるるものさへあり混保の關係もあらんが輸送思はしからず輸出主要輸出物たる豆粕は內地との不合より內地市價の釣上策として買方の輸出手控ねとなり更に買占となりて現在埠頭に貯積せられ居るもの

十四万八千噸

を算する狀態にて之を一噸三十三枚とし一枚を銀二圓と限定するも總價格は銀に於て九百七十六萬餘圓金貨に換算すれば實に二千二百四十四萬餘に上るべく之等特產物の輸出手控ねは延いて資金の輸入を阻止するに至りたるものにして現在の金融界に取ては實に由々敷問題にして何等か適當の事情に解決を與へざる限りは前途容易に緩和の復活は望み難からんかと思はる(大連)

農工增資問題

奉天 農工會社は農工銀行と組織を改むる計畫なりしが愈に債券發行の件に就き行悩みを生じ實行困難の事情あれば今回資本を一千萬圓に增加し滿洲殖產銀行とせんとする案と三百萬圓の增資をなさんとする案と二派あり目下協議中なるも近く決定の上其實現を見るに至るべしと(奉天)

◎倫敦紐育市況

倫敦銀塊　七十五片
紐育 銀　一弗二十七
倫敦電信　三弗七六
綿　三十六仙二八

內地金利

東京三月十一日の現在は左の如し

無條件　二九、五〇
翌日物　三〇、五〇
六十日物　二九、五〇
普通割引步合　二七、五〇

平板徐々引締む

強材は連續昂騰の後丈けに茲暫く値持合ひの僅一服姿なるが面鮮平板は益々品缺乏に頻しヂリヂリ引締まり步調なるを以つて三十番の四圓實現も近々ならんと

商況 株式

東京株式(至急電報)

銘柄	十二日第一立會	前日比較
長株	四八四、〇〇	一五、〇〇安
同新	四八六、〇〇	一三、一〇安
滿鐵	一八九、〇〇	二、〇〇安
一新	一八三、一〇	七〇安
二新	一八三、五〇	一、四〇安

東京現株特電

十二日中値 ▲騰貴 △下落

銘柄	拂込	時價
鮮銀	一〇〇〇	二六、〇〇
同新	一〇〇〇	……
東拓	五〇〇〇	……
一新	三七五〇	……
二新	三一二五	……
滿銀	五〇〇〇	二九、〇〇
東亞	三二五〇	……

大阪株式(至急電報)

銘柄	十一日後場大引	十二日前場寄付
大株	四七〇、一〇	四七〇、四〇
同新	四六〇、一〇	四五八、九〇
郵船	一九九、九〇	一九九、九〇
同新	一二三、一〇	一二三、九〇
商船	一一九、六〇	一一九、九〇
同新	一一四、一〇	一一六、八〇
紡績	五三三、一〇	五三三、六〇
同新	五二〇、一〇	五二〇、〇〇
東紡	三四二、九〇	三四四、四〇
東棉	二二七、五〇	二二七、六〇
堂米	二一〇、九〇	二二一、九〇
上取	一四二、二〇	一二二、九〇

安東現株特電

十二日

銘柄		當限	先物
安東信託	寄	二九、一〇	三〇、〇〇
	止	二九、二〇	二九、五〇
▲當限出來高		一三〇〇枚	
▲先限出來高			
滿洲鐵路	寄	……	……
	止	……	……
▲當限出來高		…… 枚	
▲先限出來高		…… 枚	

京城現株

標準價段 ▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	三五、〇〇	▲二四〇、〇〇
京株	二二、五〇	▲四三、〇〇
東拓	一〇、〇〇	……
一新	三七、五〇	七五、〇〇
二新	三一、二五	四一、〇〇
朝郵	五〇、〇〇	四一、〇〇
電興	五〇、〇〇	二六、八〇
皮革	五〇、〇〇	二八、〇〇
米畜	三一、二五	一六、〇〇
朝紡	三一、二五	四一、〇〇
朝紙	二五、〇〇	六二、〇〇
商銀	五〇、〇〇	六〇、〇〇
同新	三一、二五	二三、〇〇
滿毛	三一、二五	△五六、五〇
滿糖	三一、二五	五三、〇〇
朝煙	四〇、〇〇	三七、五〇
黑土	三一、二五	二五、五〇
東亞	三一、二五	九七、五〇
同新	三一、二五	三六、五〇
森鐵	五〇、〇〇	七、〇〇
中鐵	三一、二五	一二、五〇
殖鐵	一五、〇〇	一五、〇〇
興鐵	二五、〇〇	四、五〇
南鐵	五〇、〇〇	六、〇〇
朝日	一五、〇〇	一五、五〇
安信	三一、二五	三五、〇〇
鐵證	三一、二五	四五、〇〇
京銀	二〇、〇〇	二六、〇〇
肥料	三一、二五	三七、〇〇
藥貿	三一、二五	一八、五〇
大土	三一、二五	一六、〇〇
漢銀	五〇、〇〇	四五、〇〇
特許	三一、二五	一七、五〇
商工	三一、二五	一四、五〇
仁倉	三一、二五	一三、五〇
窯業	三一、二五	一六、〇〇

京株現株市況

今朝の市況は內地安と京株申込證據金に遊金固著し居る關係上極めて閑散にして賣買手合少なく只仁取のみは拂込決定以來急反撥を續け今朝來二百四十圓以上を唱へられたり昨午後より今朝に亘る手合平均値左の如し

京城現株	四三、二〇	四五八
森林鐵道	七、二〇	五〇〇
大連證券	二〇、五〇	二〇〇

東株更に低落

東株昨前場立會鼻五百圓の聲割れを演じたるが今朝も更に十五圓安の四百八十四圓新十三圓安の四百八十六圓と入れ往々不味に陷れり

仁川取引	二四一、〇〇	六、〇〇
南鮮鐵道	六、五〇	二、〇〇
東亞證券	三三、〇〇	五、〇〇
朝鮮煙草	三九、〇〇	二、〇〇
安東信託	三五、五〇	九、〇〇
日郵新	一九、〇〇	五、〇〇
滿蒙毛織	五七、〇〇	五、〇〇
朝鮮土地	二六、五〇	五、〇〇
商銀新	二三、〇〇	五、〇〇

郵船二百圓割

日本郵船は過日帝室御持株御處分說に暴落を演ぜし以來引緩き軟調を脫せず益々不味に陷りたるが今朝大阪市場にては先物遂に二百圓臺を割り百九十九圓と寄付きたり

公債株式　現物問屋　三和商店　京城府光化門通二ノ二　電話

仁取更に躍進

五割配當內定

仁取株は拂込發表後急激の反撥を演じ三十圓處より高値四十二圓の手合ありたるが後三五圓を唱へられ居たるも尙賣惜み向に買活潑ならず右は拂込後の配當五割は既に內定し居れば最早確實と見て間違ひなかるべし左れば七朱の利廻りに買ふも三百圓摑み迄買ふ地あれば此邊は買望まるゝは蓋し當然なるべきか

京株伸び惱む

京株は依然權利四十圓より四十一圓處に保合ひ幾分引締りたるか如くして其の實何となく伸び惱み勝ちなるは思惑筋の資金が同株の申込證據金に固定し居れる爲めなるべく愈々同株の公募割當決定後證據金の拂戻しを行はば其處に少なからざる遊金を生ずる事となるべきを以て之等の資金は必らず同株の思惑買に充てらるべしと期待する向あり限先として多少上伸の餘地ありと云ふべきか

▲有價證券▲現物問屋▼ ㊎金龍商會 京城長橋町六〇 電話 一八八九・八八五・〇五三番

大連取引低落

大連株式商品取引所は去る十日を期して愈々開業式を擧行したるに拘はらず同株の相場は次第弱りを呈し一時當地にても百七十三圓の手合ありたるに本日大連入電は百五十三圓と入れ高値より二十圓方の低落となれり

漢銀高氣配

漢城銀行株は五十四圓より五十五圓見當に賣買され居たるが本日は二圓方の上値五十六圓にて相對賣買成立せる由傳へられ氣配頗る硬調を呈せり

大連證券不勢

大連證券は好人氣の裡に忽ち滿株となりたるが最近大連地場安の影響を受けて二十一圓より安値は十九圓處を唱へらるゝに至れり

大連株界

愈々株式商品取引所が始まつたが人氣は先づ以て好調お祝儀商ひに多少の俥も出やうといふものだ▲金融逼迫も特產の出廻りが順調になれば無論緩和される筈▲一時逼塞の財界も多少疏通の途が開ける譯だが併し去年のやうな亂謀子のボロイことはない筈だ▲株屋連も確かりすべし整理と警戒との財界は秩序立つた方向を辿つて居るのである▲滿洲信託問題はまだ揉まして居る何んでも臨時總會を要求するとか言つて居るが臨時總會で株主が勝を制し得るならば何もさう騷ぐ必要はあるまい▲滿洲信託が勝手に出來てイザ合併といふ時に總會で蹴ね飛ばせば好いぢやないか▲事の起りは株主側が弱くて重役側が強いといふ所に横暴呼はりが生ずるのだ株主側が總會で勝ち得るなら文句はない何でも出來る▲併し信用財產なき滿洲信託こそ大連信託の對等扱ひは不當だといふのは一理も二理もあることゝ思ふ

仁川米豆取引所仲買人 ▲倉串仲買店 電話(長)三二〇、六〇二 五三六

東亞煙草內容(上)

左は在東京一株主より在鮮株主諸君の參考にとて寄せられたるものにして同社が賣賞に付可成り周密の注意を拂ひあり昨今當地にても同株の投物續出の折柄特に掲げて一般株主の參考に供す

同會社は大藏省專賣局の監督の下に經營しつゝあるものにて如何に官僚式とは云へ餘りに堅實に過ぐるの嫌ひありとの世評を屢耳にする處にて從來株式の臆病等に就ても我不關焉の態度を執り苟も堅實なる事業に投資する者は目先株價の低落等は敢て顧慮する必要なしなどゝ申居候得共近來は大分外部より刺戟されたる爲めにや多少覺醒する處有之相當考慮しつゝあるが如く見受けられ候尙第二十六期に於ける資產狀態其他同會社第二十六期營業報告中大體左記の通りに候

一、地所建物作物二、〇九七、五二一圓掲上し居れ共商北支那、滿洲、朝鮮にある地所の如きは何れも四、五年若くは六、七年前買入當時の價格を其儘計上したるものにて時價に見積り約四、五倍以上の價格を有し其他建物造作物等を詳細に評價し候に七、二五〇、八四〇圓に達するものなり　此差額五、一五三、三一九圓也

二、機械六二六、七六七圓器具七〇、二七〇圓は多少破損したるものもあり機械四二〇、〇〇〇圓器具四〇、〇〇〇圓に評價するを正當とす　此差額二三七、一三七圓也

三、葉煙草の四、一七一、二一六圓材料一、九三二、九四二圓は何れも第二十五期第二十六期に於て買入たるものにて其原價を以て計上し居れども材料品は約三割葉煙草は約四割方騰貴し居り時價葉煙草五、四二二、五八〇圓材料品二、五二一、四〇〇圓を相當とす　此差額一、八三三、一八三圓

四、商品一、一二一、六四〇圓半製品二七六、一二五圓も前記の理由にて第二十一期初めに於て約二割方引上此差額二七七、六五七圓を加算整理を了す

株式現物問屋 京城明治町貳丁目 ㋫松本商店 店主 松本卯市 電話三〇四番 四七三番 ◎米式投資家は顧客本位の弊店を御利用あれ

大阪增田ビルブローカー銀行代理店 公債株式現物問屋 丸二株式店 京城永樂町二丁目 電話長二四五九・一九四八 受信略語(〇二)又ヘ〇

米況

東京期米特電

◉十二日前場
限寄付　五十四圓七十四錢
同 止め
中限寄付　五十一圓十錢
同 止め

	●十一日後場	十二日前場
先付	……	五〇、九九
同 止め	五〇、六九	……

大阪期米特電

◉十二日前場
當限寄付　四十九圓二十九錢
中限寄付　四十九圓〇九錢

	●十一日後場	十二日前場
寄付	四八、九一	四九、一〇
高値	四八、九一	……
安値	四九、一九	……
止め	五〇、四九	五〇、四九

神戸期米特電

◉十二日前場
當限寄付　四十九圓二十五錢
中限寄付　四十九圓三十一錢
先限寄付　四十九圓三十一錢

	●十一日後場	十二日前場
寄付	四八、九九	四九、二八
高値	四九、二四	……
止め	四九、一四	……

釜山正米特電

內地期米引緩きに伴れ氣配弱きも當方の比較的強ぐ結局二十錢安の三等神力四十九圓五十錢良五十圓所にて約一千三百叺出來せり

群山正米特電

來月中物四十九圓四十錢十七錢先七十錢現物四十九圓五十錢(十二日)

大豆特合京釜線二十八圓七十錢所にて六百叺出來せり(十二日)

仁川期米

十二日前場(上放跡揉合)

前日後場引尻阪地の立直り報に買方の氣勢を助長すると同時に有力者の買物現れ來る等場面の形勢一變せし折柄引跡大阪後止め四十九圓十九錢の高移りに愈々今前場は買氣沸騰して當出來ざるも中〇福の買ひに四十八圓三十錢と始め現の買ひに二十八錢と弛みしが力の買ひに三十錢三十八丁高に先限は四十錢手堅きに先限は四十九錢と下辿りせしが押目は透さず硬派の買進みに三十錢臺に盛返し二三錢を揉合ひ四錢と氣丈に引

▲第二節 當出來ざるが中〇力の買ひに三十錢と始め先の買ひに二十八錢と弛み先力の買ひに三十二錢より二十四錢と下辿り押目は買物衰へず三十三錢と締り力の買ひに廿九錢と氣重く引

▲第三節 當限出來ず中〇買に二十五錢と始め先三十錢の買に二十五錢より手詰買に二十四錢と戻待ちの手詰りせしも押目は買物衰ろへず九錢と返し八錢と持合ひに引

▲第四節 當出來ず三十錢より一錢と手堅き折柄大阪前寄四十九圓十錢と安移りに摑し軟派は十五錢と崩しを見たれども跡電高を握ぎり買物に支へられしのみか逆に五十錢と返し四十九錢と形勢一變に引

▲第五節 當出來ず中因力の買進に三十五錢より二十錢と仲懼みしも先四十五錢より五十錢と手堅く始めしが中限の仲力派はさる爲め買方振はず四十五錢と下辿り折柄一二節に買込みし目仕舞筋の崩れ買現はれ六十七錢と躍騰し小口手詰めに二錢と押して打止めたり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㋣仲買店 電話(長)九〇五番 四三三八番

眼先底入れか

一昨日來死と底振け的の慘落を演じ愈々千丁安の機熟せしにあらざるかを思はしめ小口買方の恐怖投げを一掃したるのみならず逆轉買越し頻出して今一段の騰落を續行すべきの形勢となりしが正米の手堅き產地は有力者の新規物に忽ち形勢一變し今前日先底入れ氣を呈し今前は前後場阪地の高止めを移し益買氣を增長し當出來不申中四十九圓三十錢と高寄せしが先四十八圓十九錢と飛びしが阪地の傳へに安據みに持合ひし折柄大阪前十九圓十錢と安移りを好機に軟派又復活躍して五錢と追戮を試みたるも硬派猛烈に防戰し爲めに打止めしが何分昨年との懸隔を見ても六十七錢と躍騰し二錢と氣勢好くせる年柄丈けに買方は小口軟派は有力者の買物衰ろへざる現況なれば此場の常に表面の人氣のみには乘じ難きあると共に昨後場の四十七圓三十錢は眼先底入れならんとの觀測多し

各地小反撥

軟派の努力せる渡米の策戰美事効を奏して大阪は五十圓臺より急轉直下四十八圓八十一錢と墜落し殊に割高觀のある東京は更に脆き慘落を演じたるが昨後場に至り寄り改まり大阪止め四十九圓十九錢東京五十九錢と報じ今前寄付は東京五十圓跡高の呼び聲もありて各地共に反撥を演じたり最も百餘丁の急落揚句なれば此邊の戻りは當然なるが商材料の根底薄弱にも今回の暴落は軟派は一時的の人氣作用もあり今後の落みを引かされし筋もあれば斯かる事實に先小底となるべきも知れず成行きは實米化の程度如何と軟化入の職齪と正米需給によつて動かさるべし

仁川米豆取引所仲買人 ㊐仲買店 電話一五九八番

後場買氣猛烈

前場引際阪地の高唱さに買氣を增長し目先小口の崩れを喚起し六十七錢と反撥し二錢と打止め後大阪前止め四十九圓十五錢にて軟派揉めの仲力鈍ぶきに軟派し活躍して買崩しを試み公定買に氣を腐らし當出來ず中〇買に四十八圓三十錢と手堅く先三十五錢と廿七錢に寄付しも買氣益々猛烈を加へ

	十一日後場	十二日前場
寄付	四七、三〇	四八、〇〇
高値	四八、一〇	四八、〇二
止め	四八、一八	四八、〇五

公定値段	一節	二節	三節	四節	五節
	四八、三〇	四八、二〇	四八、二五	四八、四〇	四八、六二

平均値段	安値	高値	寄付	止め
	四八、一五	四八、五七	四八、二六	四八、三〇

出來高　五十五萬七千百石

現在取組高	當限	中限	先限
	四九、二五	四八、一〇	四八、五六

市場雜觀

買方を殺すには刄物は入らぬさ軟派は氣焰を吐くかも知れんが併し前日の如き前後で一二百丁も暴落を續けられると如何に剛情な買方でも膽を潰して投げ出さずには居られないので昨後場の四十七圓四五十錢摑みでは小口の買方は殆んど一掃されたらしいが昔て此の相場は此の儘暴落を續けるか否かや▲此の兩三日米の人氣は々々兌く買り込むだ之れでは龜裂を入れた相場丈今一段の暴落を現出せぬとも限らぬ一分過去一年の今日を顧みると此の丈弱氣さんの理想を異にせる所だが當中の建玉手堅りに付けばお慰みだが定期の模様に投げ込むか此の暴落の手筋もなし▲之れでは內地の米は賣れぬが定期を買崩して鮮米の投物を拾はんとの策戰も除り効を奏しまい現在の手許者は更に斷引に乘る樣な貧弱な向は更になからしい高かれば買つてもよし安かれば急ぐに足らずと悠々時節の揃ふを待つのであるから▲定期筋も高く買込んで目下擁くから渡米は高く買はねばならぬ上に云ふ悲境に陷りはすまいかと他人の仰氣を頭痛に病んで居る向もあるが何分十二圓の鮮米を買付けて四十九圓の定期を無茶苦茶に投げ崩すと云ふ商半先生如何に先づかられば除り買方もあらぬ米良の大勢が自由に傾けたと云ふ爲に壓到には無理な金儲けを爲さんとするには中々の骨が折れるであらうに▲當市場も其の正米が崩れたと云へ肝心の自身の部で首を占める手を貸ふた買方と思ひ一身を入れる事もこの成行を見て一度る身に過まいか假合安い間揚にしても此が正米の安心を許す譯でなからうか

仁川米豆取引所仲買人 ⾋布井仲買店 電話 三二六四 三五五番

京城正米市場

定期の慘落を受け昨市場は一二十錢の安配を唱へしも實物稀薄の折柄にて買はんとすれば強いて事實取引は之れに下にしは折合ひ困難を告げ殊に張地摺上安四十九圓五六十錢以下今朝は定期の急週引返しを見たる事とて荷主は益々賣渋の傾きありしたるが精米は又復底堅き市況を呈し商談殆ど皆無に等しき狀態なり

仁川正米市場

定期は大阪安に反落を演じたるも正米は其割反應無く安値は却つて手堅く平澤三等神力四十九圓丁度本月末の延取引にて二十錢見當を唱へ居れるも買應する向少なき模樣なり

大阪三品特電

十二日前場

二月限	六九八、九〇
四月限	六八二、〇〇
五月限	六六八、九〇
六月限	六五四、六〇
七月限	六四四、五〇
八月限	六四〇、一〇

粗布大阪筋買進

綿布は鮮內賃需依然沈散を續け滿洲方面も其後一服姿なるを以て市中取引見送り勝にて活氣乏しき雖海外輸出向頗る好望を呈し南行印度方面より引合ひ漸次入込むに連れ輸出手口の買進み頗る活樣なり殊に粗布は一段の强調を呈し相場の新值に進むに關ひ通り票三ッに對する大阪筋よりの買商談頻りにて前日來茲許先物氣配は減切傾を擁げ七九物二十六圓五十錢四九物二十六圓二十錢四六物二十五圓九十錢見當唱へらる步の各期三十錢方を引締めたるが現物は鮮內荷動き不拂底なるに尙現品潤滑にて手放し乏しく其他雜牌物は持品潤澤にて大阪筋の急ぎの買進みなきにあらざるも大阪筋の手に限られ居るは單にニエー票のみに限られ居れば賣飾の各品は相變らず人氣引立たず更に角三エー票は此際大阪にて轉賣を行はるべきもの少なからざるべしと

高等學校工事

高等學校中既に起工に決し工事中のもの及び工事に著手せんとするもの▲農林學校 村木、三重▲高等工業學校 靜岡(濱松)德島▲高等商業學校 大分、福島、和歌山、三年度竣功▲高等學校 福井、長岡▲高等商業學校 橫濱、高松 十一年度著手(十……

羅馬大司教

羅馬法王の親書を携へ日本天主敎傳道監督の爲め來朝せるベトロ……

米生糸界巨人

朝十一日午前九時横濱入港の南京丸にて米國生絲界の巨人チエーネー……

自動車運轉手トナツテ

全國朝鮮何處デモ活動セントスル者ハ一番近道ハ京城自動車講習所ノ專科ヘ入學スルニアリ 研究科ハ年二度 講習所デハ分解組立修理ノ方法ヲ加ヘ 每月二十五日迄ニ申込ミ 電話二二六〇番 京城黃金町三丁目 事務所

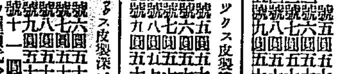
▲店員募集▼
身體強健商業に經驗ある內地人 二十二歲以上 三名
身體強健高等小學校卒業程度 十六歲以上 數名
希望者は至急履歷書を添へ地方の方は書面にて申込あれ
仁川本町四丁目 西濱 千鳥正宗支店 電話三五九番

肉筆彩色美人畫 特價七枚一組金八拾五錢 代金引換御斷り 東京芝區三田松坂町 文成堂

中風病傳來國寶湯 中風にて苦しむ人はハガキで申込め 播州 玉津 清水寺 小泉住職

◎紙幣型◎珍寫眞 財布の中の珍品ともなる表はサツと同じ模樣で真に驚くべき粹な寫眞 特價六枚一組金壹圓也 切手代用一割增 代金引換御斷り 東京牛込區赤城元町 浪花書房

安心の出來る化靴



ボックス皮製編上 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製短靴 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製深ゴム 一號六圓五十錢 二號七圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號十一圓半
▲御注文の節は靴ノ種類代金及足袋の文數等詳細御通知次第
▲御送付可申但送料は御申越次第
▲皮見本付型紙郵券二錢を要す
▲呈可仕候御照會あれ 御用命の御希望に應じ可申候
東京府御用 日野製靴店 東京京橋區幸町 電話京橋三六三九番 振替東京九五一番

特許日用品一市一郡一手販賣人募集月收三百圓位 照會見本品共廿錢要す 九州本線鳥栖町 玉さく良製造所

第十回決算報告

(大正八年十二月三十一日)

貸借對照表

資產	
未拂込基金	[illegible]
現金	[illegible]
郵便貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
有價證券	[illegible]
貸附金	[illegible]
不動產	[illegible]
什器及備品	[illegible]
未收利息	[illegible]
代理店貸	[illegible]
假拂金	[illegible]
供託金	[illegible]
合計	[illegible]

負債	
基金	[illegible]
保險契約準備金(第六十條)	[illegible]
積立金	[illegible]
基金償却積立金	[illegible]
法定準備金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
保險契約剩餘金	[illegible]
配當準備金	[illegible]
代理店借	[illegible]
身元保證金	[illegible]
年功加俸積立金	[illegible]
假受金	[illegible]
基金償還金	[illegible]
剩餘金	[illegible]
合計	[illegible]

剩餘金處分

剩餘金は之を處分すること左の如し

法定準備金	[illegible]
基金償却積立金	[illegible]
保險契約剩餘金	[illegible]
配當準備金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
基金利息	[illegible]
基金配當金	[illegible]
次年度繰越金	[illegible]

大正九年二月二十八日

相互保險　東海生命保險會社

專務取締役社長　松方五郎
取締役　阿部市三郎
取締役　諸戶清六
取締役 伯爵　川村鐵太郎

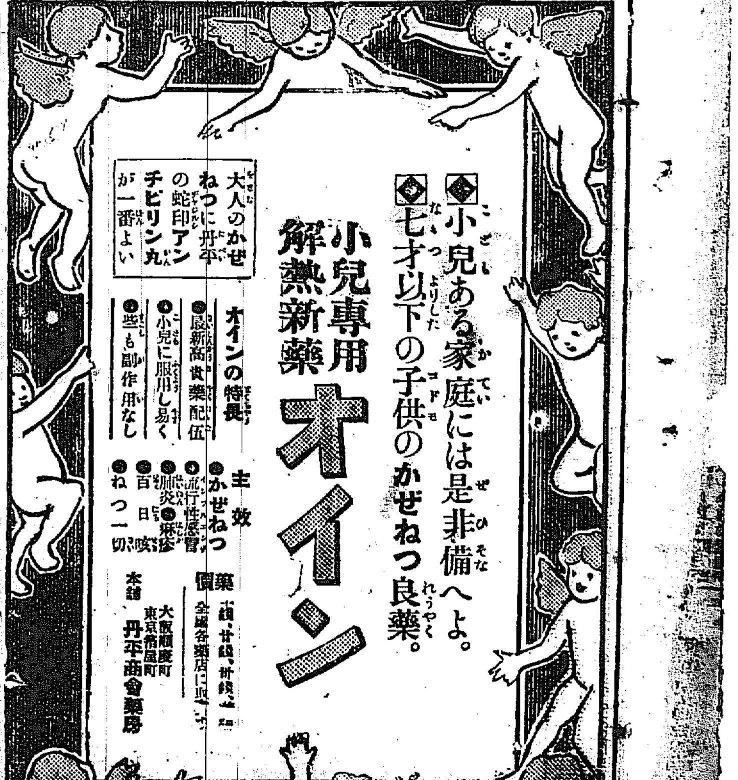
會社の帳簿及財產を調查し前記の通り相違無之と相認候也

大正九年二月二十八日

監査役　小川源次郎
監査役　春田祐清
監査役　大島要三

追て取締役全員及監査役二名任期滿了の處取締役に松方五郎、阿部市三郎、諸戶清六(重任)小川源次郎、竹友安治郎、長東駒人(新任)監査役に春田祐清(重任)奥業三郎(新任)夫れも當選就任せり

有價證券現物問屋 ㋣ 古閑記商店 京城明治町一丁目五七 電話三〇番三〇二一番 (創業大正元年)



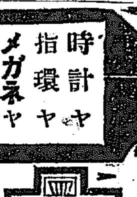
帽子原料付屬品商 合名會社 江指商店 大阪高麗橋東詰 電話東一六一五・五〇五・五〇六・五〇七

開店廣告

天保創業 全國織物問屋 株式會社 津清商店 京都市六けや松原南 電話下長四〇番下四一番 電略ツセ又ツセ一

新規開業 絹綿布貿易商 T.S 津清洋行 假營業所京城本町二丁目 電話一二四五番 電略ツセ二

時計ヤ 指環ヤ メガネヤ 貴金屬類は



京城本町貳丁目 村木時計店 電話四七一番 振替京城三二九〇
ステツキも有ります

本場大島紬商 織元出張 勝久支店 京城本町二ノ五 電話九〇二番

CAROPIS カロピス

カロピスは榎木醫學士の創製されたる魚肉蛋白滋養劑にして、臭き肉臭ある易消化性の粉末なり。食慾催進、血液新生、神經強壯、營養增進の諸作用頗る顯著なるを實驗醫家に確認され、結核病者、貧血、虛弱等に對する滋養强壯食料として最適なりとの批判を得たるものなり。

(實驗報告集御申越に從ひ進呈す)

包裝 半磅入、壹磅入の二種あり。

三共株式會社 本社 東京日本橋區室町 出張所 大阪不野橋東詰

夜の蜘蛛 「二十三」

江見水蔭 作　近藤紫雲 畫

龍子が自動車の迎へで出て行つた後へ、榎宮翁と濱大學生とが歸つて來た。二人ともカフェー瓢簞へ行つて調べて見たら、川部谷と共に裏口から出て行つたそれ切りで、素より其後の消息は分からないといふので、甚だ要領を得ず。心當りを彼方此方探し歩いて、再び母の許まで戻つて來たといふ始末。

『あツ、いろ／＼御心配掛けましたが、龍子は最前無事に戻つて參りました。併し又お迎へで出て參りました』と母の延女は二人に答へた。

まさかダムダム彈次に釣出されて、遠く郊外へ連れて行かれたとは知らぬからである。

『おう、それは好かつたですわい』と榎宮翁は安心して腰を投下した。

『然うして其迎へといふのは、何處からですか』と濱大學生は心配未だ全く去らぬ。

『それで御在ます。水上様の御屋敷から自動車が參りまして、姉の淀子が急病といふ事で御在ましてな、不取敢それに乘つて參りました』と延女は少しも疑念を生じて居らぬ。

榎宮翁も濱大學生も、之に就て疑ひを掛けるまでに至らなかつた。伯爵が流行性感冒といふからには、淀子にも感染し易い事で。之は有り得る事なのである。

『では、まア、淀子さんの方を御大事になさい。いづれ又御見舞には來る。又何か我々の手を要する事が有るなら、何時でも來ますぞ。さア濱君、龍子さんの行方が分つて安心したから、何處かで祝盃を擧げやうぢやァ無いか』

榎宮翁は然う云つて先づ立出でた。

濱大學生は未だ此所に話てゐたい様でも有つたが、翁が然ういふので、矢張供をして立ち出でた。

過去の人たる老壯士と、未來有る人の大學生とは、斯うして北條の佗住居を去り、四谷の三河屋あたりで牛鍋でもつゝくべく行つた。

延女は唯一人と成つた。

こた／＼してゐたので遅れた夕食を、いそ／＼と濟ました處へ、表を開けて。

『阿母様、ゐらつしやいますか』と云ひつゝ、障子を開けて上つて來た。それは淀子。

『おや／＼、お前は病氣だと云ふに……』と延女は吃驚して其顏を見詰めた。

『あら、病氣なのはお上です。伯爵が御病氣なのですわ』と淀子は打消した。

『でも、御屋敷から自動車で龍子を迎へに來ましたよ』

『あら、そんな筈は有りませんわ』

『でも、確かにお前が病氣だと云ふので……』

『だツて、阿母様、妾は此通り何處も病氣して居りませんわ』

『なる程それも然うね。では如何して龍子を呼びに來たのでせう』

『では、もしや、悪い奴が、妾が病氣だと僞つて、龍ちやんを連出したのでせう』

『もしそれが事實とすれば、大變ですわ』

母の延女は早や狂氣の如くに成つた。

淀子とても實際吃驚した。誰が何の目的で龍子を連出したか、一寸見當が附かぬからである。

會席御料理 竹の家 岩 翠 京城南山町二丁目(倭城臺別莊下) 電話壹一六三番 女將 め

日報詞苑

俳壇

◎蛙會詠草(慶南 南海)

○拓 川
温突に蝶灯暗き夕餉かな
人語なく温突淋しく灯されし
温突の更けて搗く砧き哉
干してある闘草履や歸り花
寞の火を踏み消して過ぐ歸り花
畝尻に湖の碧さや歸り花

○無花子
温突の窓に陽移りて樹影哉
温突に江の明りすや雁騒く
山谷る所隰ありて歸り花

○からむし
温突にヨボ等集り護戒るゝ
嬰落も庫裡の日南や歸り花
土手下に佳める小家や歸り花

○水 哉
門前に佳める花屋や歸り花
狂ひ咲きて色の褪なし林檎哉
温突にヨボ振り謠ふチョンガ哉
温突に皆膝抱き歎し居る
温突の烟りに沈む夕日かな
温突の隅に積みある漢書哉
日溜りに寢ね居る猫や歸り花

○玉 泉
温突の緋火に飛ぶ蠅なりし
温突の壁に吊せる雨傘かな
温突に古机並めし書堂かな
温突の壁這ふゲヂの音更なり
崖の上に並ぶ小家や歸り花
離見ねて登る徑や歸り花
風呂に汲む水の温さや歸り花

○青 燕
温突の天井這へる煙りかな
温突の床に古葉が落ち居たり
温突の奥に女の低語かな
乞匱の物飲き居るや歸り花

○梅 郷
温突を出づれば朝の日が暮れ
給仕せる稚子しや歸り花
心よけに砂浴びる雞や歸り花

○鐵 城
温突に莨蔽敷き里長居り

○春 水
温突に寢て小船待つ八戰かな
ツルチビの温突と雨を訪ひ居る
歸り花牛けて淋し一ト間かな

○谷 水
温突石を切り居る山の響哉
温突の壁に吊せるランプかな
温突の畑れの巨相にありし
ブ肥ある農園の路や歸り花

▲俳句同好諸氏の出句を觀迎す 課題は慶尙南道南海島落合拓川苑御中越次第通報す

新刊紹介

▲婦人と新社會(創刊號) 山田わか子女史の主宰に成れる月刊雜誌、兩性の關係や社會と婦人や國家と家庭、之等の問題に對して一々解決を與へんとするに人間生活の實際に喰ひ入つて而も科學的に研究の步を進めんとする纎弱な女の大なる叫びを發表せん爲に生れたもので、小冊子ながらドツシリした云ひ知れぬ重味のあるが頼しい(二十五錢、東京本郷區湯島東洋出版社)

▲日本美術界(本多錦吉郎號) 日本洋畫界の最功勞者にして且つ德望高き本田翁の紹介に全誌面を提供し平生翁の事蹟に詳しき斯家門家生等の寄稿に係る記事數十篇を網羅し卷頭を飾るに翁の作品數葉を以てせるなど用意周到一讀翁に對する敬慕の情をして益々濃からしむるものがある(五十錢、東京日本橋區長谷川町鉛筆閣)

▲自由評論(惡勞働臨機撲滅號) 勞働問題の根本精神(木下尙江)勞働の醜化と善導(山脇博士)勞働團體の腐敗(横溝)働き主義と勞働問題(高畠素之)を始め諸名士の時事評論、趣味文藝、感想創作を蒐め卷頭に肥田社長の『貴族院の暴狀を痛罵す』を揭げてある(三十五錢、東京赤坂區田町共社)

▲ホトヽギス(三月號) 卷頭高濱虛子氏の『雪』は氏獨特の大文章、原月舟氏の『寫生は俳句の大道であります』及び鳴雪、虛子其他諸氏の『小學校讀本中にある俳句』は共に初學の好羅針盤である、そして樹の蔭に又土の上に(靈經)の外『俳句入門欄』亦見逃すことは出來まい(三十錢、東京牛込區市谷船河原町共發行所)

▲みづゑ(三月號) 佐藤氏の『女優イル、バルフオート嬢』故寺田季一氏の『初秋の匠先』後藤氏の『冬』等の原色版の外に會友諸氏の作品は鮮明なる寫眞版を以てし記事には日本水彩畫會第七回展覽會合評其の他雜感、評論等を收めてある(五十錢、東京小石川關口駒井町三峯畫會)

▲東亞經濟事情(第一輯) 朝鮮滿洲を中心として東亞大陸の經濟調査事項を發表する爲めの月報で本輯には煙草稅擔保米支借款の眞相(廣江澤次郎)朝鮮に於ける植物性油原料(牧山正德)を揭げてある(會費月額六十錢、京城東亞經濟會)

▲拓殖新報(三月號) 衆議院の解散(吉武源五郎)新時代の常識(後藤新平)開墾面の西伯利(長尾半平)其他拓殖上の記事滿載(三十錢、東京芝區南佐久間町共社)

▲滿蒙研究彙報(二月號) 滿蒙產業經濟に關する研究資料を蒐む(會費月三十錢、旅順乃木町滿蒙研究會)

▲經濟時論(二月廿五日號) 物價の情勢と將來(西內主筆)を始め銀行會社に對する周密な調査內容を揭げ料界の前途と肥料界、有望の三新會社、絕望の二新會社等が重要な事(二十五錢、東京…)

▲性(三月號) 澤田順次郎氏主幹に係る性欲研究の專門雜誌(二十錢、東京神田區中猿樂町天下堂書房)

▲世道研究(三月號) 卷頭に小藤堂氏の手を添へてある(三十錢、東京神田區猿樂町斯華會)

▲金融と經濟(二月號) 說林資料雜錄調査悉く有益な記事のみ(三十錢、京城府大門通朝鮮經濟協會)

▲角力世界(九三) 本誌獨特の角力記事や寫眞で賑つてゐる(二十五錢、東京京橋區築地一ノ一共社)

▲獨逸語青年(三月號) 獨逸語に志す者の好伴侶(三十錢、東京本郷區龍岡町共社)

▲滿蒙實業彙報(二月號) 同地方貿易、財政、金融等の記事揃ひ滿載(五十錢、大連商業會議所)

▲安東商業會議所月報(五〇) 時政金融交通等の統計詳密(三十錢、滿洲安東縣安東商業會議所)

後家の親方

△私は祖父の代より貸座敷業を營んで居りますが、一幅な所持致し居るものに候處年代は何、頃のものなるや又價格は目下何程の相場あるものなるや御知せ下さ度し(横好き)△私はニキビの出來て居りますがシアテルミーなかけるとニキビがなほると同時に皮膚が美くしくなるのですが或は又皮膚を美くしくする爲に別にかければいけませんか時日はどの位かゝりますか又毛深く鼻の下などに男の如くこき毛がはへますがシアテルミーでなほりませんか(愛讀者)

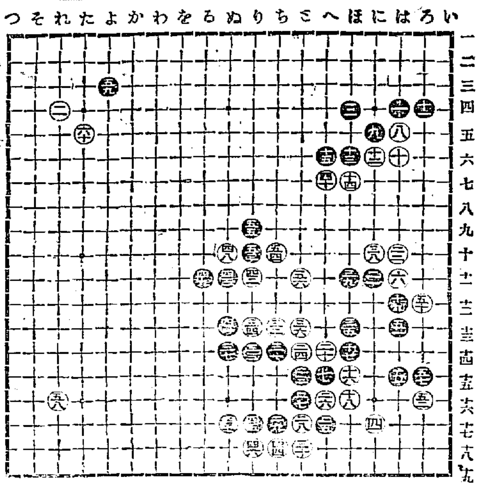
△貸見の上で無ければお答へ能きません(係)△不知生に御答へ致します朝鮮の印紙税は內地の印紙税法と同樣です又御尋の(一)契約書三錢(二)委任狀二錢(三)領收證三錢(四)借用證書は證書面記載金高の萬分の五の印紙を貼用することになつて居ります尙詳しきは京城府廳財務第一課へ問合せられば懇切に教へて呉れます

足立生)△目下は官職に從事し將來は西伯利附近へ出て實業が營んで見たいものと存じます之に付第一の準備第二の準備第三迄を御承知の御方ありましたなら御分別で御知せ下さいませんか學力は高等小學卒業程度現在は夜間勉强して居ります(循環生)△二號長四號或は五號の葉栞を御不用の御方は御座いませんか(アイ生)▲主婦なき孤子供衣類の世話に困つて居りますが南山町附近にて親切に裁縫洗濯をして下さる方が有りませんか又御知合にそう云ふ方がおれば知らして下さいませんか(南山町愛讀者)

東京六華會 青年棋客敗退棋局(第一回の四)

大正九年二月二十四日
先番 向井一男(初段)
先 長谷川章(初段)

●四六	り十八
○四七	ぬ十七
●四八	る十一
○四九	ぬ十
●五〇	ろ十二
○五一	は十三
●五二	ろ十六
○五三	り十
●五四	ち十
○五五	り九
●五六	と十一
○五七	ろ十五
●五八	れ十六
○五九	よ三
●六〇	た五



小兒良藥 樋屋奇應丸
ほうそ、はしか、んむし、ねつさまし
大阪 樋屋合資會社製 天滿橋

種子 苗木 農具 肥料
◎春季營業案內進呈
朝鮮に於ける元祖 京城勸農園 京城本町三丁目

りん病

若々しくする美膚料 クレームレート

春と美容

寒さでイヂケて居た地肌が開いてまゐります。

此際お肌の手入れが肝腎でムいます。その手入にはクレームレートが一番よろしい、即ち

▲地肌の脂肪や汚れを取り去り、皮膚を柔軟かに、生々として艶を増します。—(美容の一)—

▲其上 荒れを除へお肌の肌理を羽二重のやうに細まかく致します。—(美容の二)—

▲お肌が柔軟になつて居ますから、その上粉刷きをすれば美しいお化粧が出來ます。—(美容の三)—

本舖 東京 大阪 平尾贊平商店